

地域経営（自治）

「環境と調和する自立した社会を目指して」

(1) 持続可能な地域社会づくり

※ く 〉内は、「決算事項別明細書」
の該当ページを表しています。

① まちに にぎわいを取り戻す

〈95・97・147・177 ページ〉

○ 地方創生推進事業

「稚内市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の目標達成に向け各種施策を展開した。

また、総合戦略の進捗管理にあたっては、地方創生本部及び地方創生市民会議の意見を聞きながら、施策の改善・推進に努めた。

〈地方創生本部〉

・開催日：第1回 平成29年8月7日(月)

第2回 平成29年10月17日(火)

・内 容：稚内市まち・ひと・しごと創生総合戦略の実施状況報告、地方創生関連交付金の活用など

〈地方創生市民会議〉

・開催日：平成29年11月20日(月)

・内 容：稚内市まち・ひと・しごと創生総合戦略の実施状況報告、地方創生関連交付金の活用など

○ 枕崎市友好都市交流事業

- ・ 友好都市締結5周年枕崎市民訪問団稚内市来訪

期 間 平成29年6月16日～17日

来訪者 25人

- ・ 友好都市締結5周年稚内市民訪問団枕崎市訪問

期 間 平成29年10月21日～24日

参加者 20人

- ・ 北の桜守上映会開催（枕崎市民会館）

上映会 平成30年2月17日

来場者 約800人

○ 石垣市友好都市交流事業

- ・ 友好都市締結30周年石垣市民訪問団「石垣市民の翼」稚内市来訪

期 間 平成29年8月25日～27日

来訪者 32人

- ・ 友好都市締結30周年稚内市民訪問団「稚内市民の翼」石垣市訪問

期 間 平成29年11月3日～7日

参加者 45人

- ・ 北の桜守上映会開催（石垣市民会館）

上映会 平成30年2月25日

来場者 約800人

○ ちょっと暮らし移住体験推進事業

・ 移住体験住宅利用実績

住宅名	利用者数	利用日数	延べ利用者数	期間
下勇知1号	3組 5人	39日	63人	5月から10月まで
西浜1号	4組 9人	47日	106人	
まちなか1号	3組 7人	49日	108人	5月から3月まで
計	10組 21人	135日	277人	—

○ 最北端・食マルシェ開催費補助事業

・ 最北端・食マルシェ 2017

開催日 平成29年8月26日(土)、27日(日)

場所 北防波堤ドーム公園

来場者数 約24,800人(昨年度 約29,500人)

○ 稚内市子ども芸能祭・南中ソーラン祭開催事業

・ 稚内市子ども芸能祭・南中ソーラン祭

開催日 平成29年8月26日(土)

場所 北防波堤ドーム公園

参加団体 24団体 1,377人(引率含む)

来場者数 6,800人

② 人と自然が共生した環境社会の実現

〈131 ページ〉

○ 環境基本計画推進事業

・ 稚内市環境基本計画の推進

計画期間 平成18年度～平成29年度

実施体制 環境づくり会議(環境に関する活動団体及び関係団体により構成)

庁内推進会議(庁内関係部局により構成)

※ 平成29年度の実施状況

庁内における環境施策の実施状況取りまとめ

稚内市環境基本計画年次報告書の作成

・ 第2次稚内市環境基本計画の策定

計画期間 平成30年度～平成39年度

目指すべき環境像 「人と地球にやさしいまち わっかない」

計画基本目標 I. 社会の低炭素化に貢献するまち-低炭素社会の実現-

II. ごみを減らし資源を有効につかうまち-循環型社会の形成-

III. 健康で安全に暮らせるまち-生活環境の保全-

IV. 豊かな自然を守り人と生き物の共生を実現するまち-自然環境の保全-

V. より良い環境をめざして市民一人ひとりが参加し行動するまち(共通目標)

- 実施内容 ・中学生ワークショップ(参加者 10 人)
 ・市民ワークショップ(参加者 18 人)
 ・第 2 次稚内市環境基本計画(素案)に対するパブリックコメント(意見 0 件)

・ 稚内市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の推進

計画期間 平成 23 年度～平成 32 年度

計画目標 平成 18 年度における二酸化炭素排出量を基準とし、平成 23 年度から平成 32 年度までの
 10 年間で二酸化炭素排出量を 538,000Kg-CO₂(7.3%)削減

※ 平成 29 年度の実施状況

各課に配置している温暖化防止推進員が点検シートを毎月報告

	H18(基準年)	H27	H28	H29
CO ₂ 排出量(1,000kg-CO ₂)	7,331	7,189	7,263	7,198
削減率(基準年度比)	-	1.9%	0.9%	1.8%

・ 稚内市地球温暖化対策実行計画(地域)の推進

計画期間 平成 23 年度～平成 32 年度

計画目標 二酸化炭素排出量を、平成 32 年度で基準年度(平成 2 年度)比 25%削減を目指す。

③ 「食」のあり方を見つめ直す

〈165 ページ〉

○ 食育推進事業

・ 「食育月間」の取組について

開催日 平成 29 年 6 月 1 日(木)～14 日(水)

場 所 稚内市立図書館

内 容 「食育」関係図書展の開催・生活習慣病予防及び健康増進となる知識や方法に関する掲示物
 と食品ディスプレイの展示。

(2) パートナーシップによるまちづくり

① 市民の声を活かした開かれた市政の推進

〈91・103 ページ〉

○ 「ふれあいトーク」の開催

・ 地域の課題や市政について、市長と市民が意見交換を行い、市政に反映させることを目的に開催した。

第 20 回 平成 30 年 1 月 24 日(水) 大黒二町内会館 19 人参加

第 21 回 平成 30 年 3 月 22 日(木) キタカラ 市民活動室 14 人参加

○ 広報紙発行事務

・ 年 12 回発行(全戸配付)

・ 平成 22 年度から広報紙「広報わっかない」の編集・作成業務を稚内北星学園大学に委託(平成 28 年度からは一部委託)

- FM わっかない放送事務
 - ・「ハートフルわっかない」 平日3回、土日2回放送
 - ・「元気ハツラツわっかない」 週1回放送
 - ・「市政ふれあい通信」 本放送月1回、再放送月1回（ウェブラジオ配信）
 - ・「学びふるさと再発見」 平成26年3月で番組終了。過去に放送されたものをウェブラジオで配信
 - ・「防災・災害ひとロメモ」 1日1回毎日放送

- TV 広報市民ニュース放映事務
 - ・年53回放映(毎週土曜日)

- ホームページ管理運営事業
 - ・アクセス件数 472,731件（昨年度 460,845件）
 - ・各課ページ更新件数 2,386件（昨年度 2,833件）
 - ・バナー広告掲載数 1枠（昨年度 1枠）

② コミュニティ活動の促進

〈99 ページ〉

- まちづくり委員会支援事業

委員会	主たる活動内容
天北地区	カフェ天北の支援
恵北・増幌地区	花いっぱい運動、平和の灯点灯式
東第1地区	東地区活動拠点センター管理運営協議会への参画
声問地区	花いっぱい運動の実施
西浜地区	カエルロード交通安全推進事業、凧作り凧上げ大会の開催、花見会の開催、アイスキャンドル事業の実施
宗谷地区	宗谷路クリーン大作戦の実施、スノーキャンドル・アイスキャンドル事業
大黒・末広地区	ハロウィン「夢灯り」の開催、図書館花いっぱい運動、アイスキャンドル事業
南地区	南地区活動拠点センター管理運営協議会への参画
港地区	港小学校「港小祭り」への参加
宝来地区	宝来地区活動拠点センター管理運営協議会への参画、花いっぱい運動、まちづくり出前講座の実施(宝来地区いきいき健康講座等)、アイスキャンドル事業
北地区	花いっぱい運動
富岡・はまなす地区	富岡・はまなす地区活動拠点センター管理運営協議会への参画、花いっぱい運動

※ 各まちづくり委員会の掲載順は、設立年月日による。

- 地域集会所等改修事業
 - ・ 宗谷集会所改修工事【床下等改修工事】
 - ・ 豊別集会所改修工事【屋根外壁工事】
 - ・ 仲好町内会館改修費補助金【外壁改修工事】

- 町内会活動支援事業
 - ・ 恵比須町内会創立 50 周年記念事業補助金

○ コミュニティ助成事業

北地区の恵比須、稚恵、今恵町内会の住民が利用する備品の整備を行った。

内容:会議テーブル、椅子、ポータブルステージ、テント、テント用砂袋、ブルーシート、紅白幕、電動式キューブアイススライサーの整備

○ 地域活動拠点施設管理運営事業（主な利用形態:各種サークル、各町内会、老人クラブ活動）

- ・ 利用者数の状況

施設名	平成 28 年度	平成 29 年度
宝来地区活動拠点センター	41,362 人	33,553 人
東地区活動拠点センター	28,896 人	32,726 人
富岡・はまなす地区活動拠点センター	26,899 人	24,201 人
南地区活動拠点センター	13,960 人	20,202 人

○ 協働のまちづくり推進事業

- ・ 協働のまちづくり活動支援事業補助金 ※新規

自主的な「まちづくり活動」を行う市民団体等の取組みに対して支援を行い、市民と行政の協働によるまちづくりの推進を図った。(補助率 2/3、限度額 30 万円)

- ① 地域食堂ふらっと実行委員会:補助金額 99,000 円

「地域食堂ふらっと」を定期開催するとともに、同様の活動を目指す団体との連携や他市町村の団体と情報交換等を行った。

- ② 特定非営利活動法人ここ:補助金額 300,000 円

社会参加促進事業のさらなる展開を図るため、各種活動の周知やセミナー等を実施したほか、高齢者等を対象とした音読講座を開催することにより、認知症予防の啓発を行った。

- ③ 野遊び自主保育のつばら運営委員会:補助金額 198,000 円

幼児自然保育の実施(週 2 回)や、野遊び並びに育児をサポートする活動及び環境の充実を図った。

③ 生涯にわたる学びの支援

〈175 ページ〉

○ 生涯学習推進施設整備事業

- ・ 生涯学習総合支援センター(風～る わっかない)の整備

・ 地方創生推進事業

- ・ 女性活躍応援セミナー「キラキラ輝く自分探し 地域で働く私を創造する～好きなこと、得意なことを地域に活かす、仕事にする!～」

開催日等 平成29年10月27日(金) 稚内総合文化センター 小ホール

参加者数 55人

- ・ 生涯学習講演会「子育てがもっと楽しくなる!魔法のことば～子育てで一番大切なこと～」

開催日等 平成29年10月29日(日) 稚内総合文化センター 大ホール

参加者数 60人

- ・ 稚内学特別連携講座「稚内自慢の食材『稚内ブランド』学んで、作って、美味しく食べよう」

開催日等 平成30年3月10日(土) 稚内市保健福祉センター

参加者数 13人

- ・ 生涯学習講演会「～声掛けからはじまる地域の絆～いつも何かにときめいていよう」

開催日等 平成30年3月24日(土) 稚内総合文化センター 小ホール

参加者数 150人

- ・ 生涯学習総合支援センター周知事業

生涯学習総合支援センターパンフレットの作成及び配布、開館に向けた地元新聞社への広告掲載。

- ・ 学習メニュー研究・開発事業

教育関係機関と連携し、幅広い年齢層に対応した学習プログラムの開発に向け、事業実践や考察などを行うと共に研究紀要を作成した。

○ 生涯学習運営事業

- ・ 生涯学習推進アドバイザーの配置及び派遣

アドバイザー3人を、社会教育センターへ配置し、生涯学習相談の場を提供するほか、市民グループの要請に応じて派遣。

- ・ 生涯学習フェスティバルの開催

「2017まなびふれあいフェスタ in わっかない」の開催

「ハロウィーン・ぬりえギャラリー」

「第60回稚内市小中音楽祭」

「第16回SO-YA 夢コール(合同合唱祭)」

「いきいき芸能発表会」

「市民サークル展」

「生涯学習フェスティバル」

来場者数 延べ4,030人(昨年度 延べ3,369人)

④ 人権の尊重と平和な社会の構築

〈95・99 ページ〉

○ 男女共同参画事業

・ パネル展の実施

市立図書館(同時開催 関係図書館)

開催期間 平成29年6月15日(木)～25日(日)

※男女共同参画週間 毎年6月23日～29日

稚内北星学園大学(稚内北星学園大学彩北祭2017)

開催日 平成29年10月7日(土)、8日(日)

稚内総合文化センター(成人式)

開催日 平成30年1月7日(日)

中央小学校

開催期間 平成30年1月22日(月)～26日(金)

増幌小学校

開催期間 平成30年1月29日(月)～2月2日(金)

・ 男女共同参画講演会の開催(1回)

開催日 平成30年2月18日(日)

開催場所 稚内総合文化センター 美術室

参加者数 45人

○ 人権擁護推進事業

・ 「人権の花」運動

稚内人権擁護委員協議会と連携し、市内小学校(全11校)に花の苗40株と培養土を配布し、花を育てることで「命を大切に作る心」、「協力し合う心」、「相手を思いやる心」など、人権についての心を育む活動を行った。

実施日 平成29年5月22日(月) 稚内市立潮見が丘小学校(代表校)

(3) 健全で適正な自治体経営

① 経営的視点に立った行財政運営

〈87・95・101・103・113 ページ〉

○ 議会ICT推進事業 ※新規

議員個々に貸与したタブレット端末を活用し、本会議及び各委員会などの議会運営を実施

- ・ 議員用タブレット端末(LTEモデル) 16台を導入
- ・ 議会事務局用タブレット端末(WiFiモデル) 4台を導入
- ・ 文書共有システム SideBooksクラウド本棚を導入

○ 政策調整一般事務費(行政評価の実施)

内部評価については、平成29年度の重点取組事業について評価を行うとともに、市民アンケート調査の結果等を踏まえながら、第4次総合計画後期基本計画の施策評価を行った。また、外部評価については、平成27年度に実施した5事業の評価を行い、外部評価報告書を取りまとめて、市長に評価結果を報告した。

○ 総合計画策定事業 **※新規**

第4次総合計画の計画期間が平成30年度をもって終了することから、新たなまちづくりの指針として「第5次総合計画」の策定作業を進めてきた。平成29年度は、総合計画審議会を設置して第5次総合計画の策定に関して意見を伺うとともに、アンケートやワークショップによる市民意見の聴取、第4次総合計画の検証等を行い、それらを踏まえた上で基本構想(たたき台)を作成した。

・ 総合計画審議会

第5次総合計画に関して市長の諮問に応じて、必要な調査及び審議を行うために設置

[委員数]25人 [開催回数]2回

・ 市民アンケート調査

市民の行政サービスに対する満足度や今後の優先度等を把握するために実施

[送付]2,000人(市内居住の18歳以上の方) [回収]495人(24.8%)

・ ワークショップ、団体ヒアリング

様々な業種や年齢層の幅広い市民から、本市の課題やその解決策、目指すべき将来像等に関する意見を聴取するために実施

[ワークショップ]全4回開催(延124人参加) [団体ヒアリング]5団体から意見聴取

○ 職員研修事業

人材育成を推進するため、職員研修を実施した。パワーアップ研修(社会の変化や直面している特定の課題をピックアップし、これに即応できる能力を身につけられるよう実施するもの)や派遣研修のほか、eラーニングや、自主研修への支援、臨時職員・非常勤職員を対象にした研修などを実施し、職員の育成に努めた。

・ 集合研修 12回 延べ 380人 (昨年度14回 795人)

一般研修 8回 延べ 255人

階層別研修 4回 延べ 128人

専門研修 4回 延べ 127人 (うち、パワーアップ研修76人)

※パワーアップ研修…若手職員コミュニケーション能力向上、事業のスクラップ、文書作成能力向上
特別研修 4回 延べ 125人 (人事評価研修、新任課長研修など)

・ 研修機関派遣研修 11人 (昨年度 11人)

派遣先 (研修内容等)	派遣人数
市町村職員中央研修所	2人
住民税課税事務	1人
研修講師養成講座(地方公務員制度)	1人
日本経営協会「NOMA 行政管理講座」	2人
地方自治体における契約事務	1人
徴収担当者のための対人交渉力向上講座	1人
全国建設研修センター	2人
地域の浸水対策	1人
官民連携 PPP/PFI	1人
公務人材開発協会	1人
接遇研修指導者養成研修	1人
日本広報協会	1人
DTPセミナー	1人
防災士研修センター	3人
防災士研修講座	3人

・ その他派遣研修 5人 (昨年度 1人)

(一社) 稚内青年会議所(会員)派遣 1人

民生文教常任委員会行政視察 1人

総務経済常任委員会行政視察 1人

議会運営委員会行政視察 1人

石垣市・稚内市職員相互派遣 1人

○ 社会保障・税番号制度システム整備事業

社会保障・税番号(マイナンバー)制度の情報連携の開始及び制度改正の対応に必要なシステムの改修・整備及び総合運用テストを行った。

[整備・改修及び総合運用テストをしたシステム]

- ・ 住民基本台帳システム
- ・ 地方税務システム
- ・ 団体内統合利用番号連携サーバー
- ・ 児童福祉システム
- ・ 国民健康保険システム
- ・ 介護保険システム
- ・ 障がい者福祉システム

○ 統計調査事業

・ 平成 29 年学校基本調査

調査実施日 平成 29 年 5 月 1 日

調査対象 小学校 11 校、中学校 7 校、幼稚園 6 校、専修学校 1 校(休校中)

調査方法 各学校単位による調査

・ 平成 29 年工業統計調査(製造業対象)

調査実施日 平成 29 年 6 月 1 日

調査方法 調査員 10 名による調査票及びオンライン調査

調査対象 112 事業所(平成 28 年 12 月 1 日現在)

集計結果 112 事業所

甲(30 名以上の事業所) 16 事業所

乙 1(4~29 名の事業所) 60 事業所

乙 2(1~3 名の事業所) 36 事業所

休業中(乙 2) 0 事業所

・ 平成 29 年就業構造基本調査

調査実施日 平成 29 年 10 月 1 日

調査対象 105 世帯(220 人)

調査方法 調査員 7 名による調査票及びオンライン調査

分野1 教育・文化

「心豊かな人と文化をはぐくむまちを目指して」

(1) 地域・家庭における教育力の向上

① 命を大切に作る心をはぐくむ

〈121・187 ページ〉

○ 児童虐待の防止

児童福祉法に基づく要保護児童対策地域協議会として位置付けられる「児童問題連絡会」において民生児童委員等関係機関を対象とした研修会を実施した。

○ 学校給食センター管理運営事業、学校給食供給事業

・ 実施回数及び給食数

	平成 28 年度		平成 29 年度	
	実施回数	食 数	実施回数	食 数
小学校	1,693 回	338,622 食	1,739 回	335,934 食
中学校	1,152 回	186,255 食	1,174 回	184,935 食
幼稚園・保育所	1,384 回	99,397 食	1,435 回	102,172 食
合 計	4,229 回	624,274 食	4,348 回	623,041 食

・ 特色ある学校給食の実施

小学校 5 校でバイキング給食を実施した。

(稚内中央小学校、稚内南小学校、稚内東小学校、潮見が丘小学校、宗谷小)

季節行事食の提供(4 回)

(子どもの日、七夕、クリスマス、ひなまつり)

中学校卒業記念行事食

(3 年生を対象にデザートを提供)

○ 栄養教諭による食の指導実施

・ 小学校 10 校 (44 回)

・ 中学校 3 校 (8 回)

○ 学校給食地場産物提供事業

・ 地元食材を利用した給食提供回数 85 回

稚内ブランド 20 回

(一夜干し姫ほっけ、稚内牛乳、ほたてシューマイ、ほたて丸、宗谷の塩、宗谷黒牛)

地場産物(地元加工食品) 65 回

(鮭・サンマ・鮭フライ・ほっけメンチ・サバ味噌煮・特製フランクソーセージ・利尻昆布・

宗谷産塩蔵もずく等)

・ 地元食材使用料理・郷土料理等の提供

石狩鍋、ちゃんこ鍋、各種すり身汁(カジカ等)、イモ団子汁・ジンギスカン等

○ 学校給食費助成事業

幼稚園・小中学校に通い、給食を受ける園児及び児童生徒の保護者に対して、1年間の給食費の半額相当分を助成する。

	平成28年度			平成29年度		
	園児・児童・生徒	助成人数	助成率(%)	園児・児童・生徒	助成人数	助成率(%)
幼稚園	489人	144人	29.45	499人	146人	29.26
小学生	1,652人	258人	18.57	1,582人	253人	18.75
中学生	892人	137人	18.79	868人	108人	15.15
合計	3,033人	539人	20.68	2,949人	507人	19.80

※ 但し、助成率の算定に当たっては、児童・生徒数から生活保護及び就学援助該当者を除く

② 安全で安心な子育て環境づくり

〈175・177 ページ〉

○ 子育て推進事業

・ 子育ての日事業

開催日等 平成29年4月29日(土・祝) 稚内総合文化センター

来館者数 1,300人(昨年度1,200人)

・ 子育て平和の日記念式典の開催

開催日等 平成29年9月1日(金) 宗谷岬公園

出席者数 185人(昨年度235人)

・ 平和折り鶴祭の開催

開催期間 平成29年7月28日(金)～8月10日(木)

展示場所 中央商店街アーケード、市庁舎、市立図書館、キタカラ

展示数 20万3,012羽(昨年度19万6,600羽)

・ 平和学習の充実(平和学習資料の配布、稚内市子ども会議 ほか)

・ 子育て意識啓発(宗谷教育講演会、全市子育て運動交流研修会の開催)

○ 稚内市子ども安全育成センター運営事業

・ 街頭育成補導活動

定例、特別街頭育成補導の実施(年46回 138人参加)、専任育成員による街頭育成補導活動

・ 「校外生活のめあて」配布(配布数 市内小中高生 3,564人)

・ 非行防止ポスター、標語の募集 (ポスター98点、標語581点)

・ 有害環境の浄化(有害図書類取扱店立入調査 ほか)

・ スクールガードボランティア登録数 市内6地区 457人(平成30年3月31日)

・ 安全・安心マップ配布(市内小学校 271枚)

・ 稚内市スクールガードボランティア全市交流会 (平成29年12月2日(土) 参加者61名)

③ 就学前児童の教育の充実

〈187 ページ〉

○ 子どものための教育給付費支給事業

子ども・子育て支援法に基づく支給認定を受けた子どもの就学前教育に要した費用を、特定教育施設へ支弁した。

・ 支給対象人員

	満3歳児	3歳児	4歳児以上	合計
幼稚園(1号)	186人	1,672人	4,258人	6,116人
幼稚園(2号)	0人	0人	0人	0人
合計	186人	1,672人	4,258人	6,116人

※ 1号認定：満3歳以上の学校教育のみ(保育の必要性なし)の就学前子ども

※ 2号認定：満3歳以上の保育の必要性の認定を受けた就学前子ども

・ 私立幼稚園児童数の状況(平成29年5月1日現在)

	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
稚内ひかり幼稚園		33人	39人	36人	108人
稚内大谷幼稚園		11人	19人	18人	48人
稚内富岡幼稚園	1人	34人	58人	42人	135人
稚内幼稚園	2人	23人	29人	27人	81人
稚内鈴蘭幼稚園		39人	46人	30人	115人
萩見幼稚園		1人		11人	12人
年齢別合計	3人	141人	191人	164人	499人

(2) 時代に即した学校教育の推進

① 生きる力をはぐくむ教育の充実

〈167・169・173 ページ〉

○ 教育研究所運営事業

- ・ 多様化・複雑化している教育現場を支援するための調査・研究を行い、更なる教育の振興・発展のため、今日的な教育課題に即応した研修や事業を展開した。
- ・ 学校教育指導員(2人)、専任所員(1人)を配置した。

- 教育相談・不登校対策事業
 - ・ 児童生徒の問題行動や不登校問題等の課題に対応した。
 - ・ 教育相談所に学校教育指導員(1人)、スクールソーシャルワーカー(2人)、スクールカウンセラー(1人)、教育相談アドバイザー(1人)を配置し、保護者や関係機関との緊密な連携のもと、児童生徒の問題の早期発見・早期解決や相互の関係改善を図った。
 - ・ 適応指導教室に学校教育指導員(2人)を配置し、不登校児童生徒に対し、教育相談、体験活動、教科学習等の支援を通じて、心の安定や意欲向上を図り学校生活の復帰を促進した。

- 土曜授業推進事業
 - ・ 土曜日において学校・家庭・地域が連携し、多様な学習、文化やスポーツ、体験活動等の機会を設け、豊かな教育環境・充実した学習機会を提供した。
 - ・ 実施校 5校(稚内中学校 11回、稚内南中学校 9回、稚内東中学校 11回、宗谷中学校 10回、潮見が丘中学校 9回)

- 学生ボランティア派遣事業
 - ・ 小学校及び中学校へ学生ボランティアを派遣し、学習指導及び不登校児童生徒への支援を行った。
 - ・ 登録者数 15人
 - ・ 派遣先 5箇所
 - ・ 派遣日数(延べ) 稚内中央小学校 4日、稚内南小学校 4日、稚内東小学校 9日、潮見が丘小学校 10日、つばさ学級 10日

- スクールソーシャルワーカー活用事業(北海道からの委託事業)
 - ・ 問題を抱えた児童生徒に対し、そのおかれた環境へ働きかけたり、関係機関等とのネットワークを活用したりするなど、多様な支援方法で課題解決への対応を図った。
 - ・ 教育相談所に2人を配置した。(支援件数 不登校・家庭環境・発達障がい等に関する支援など計 198件)

- 小学校教育振興事業・中学校教育振興事業(特別教育支援員配置)
 - ・ 学校における生活や学習上の困難を有する児童生徒に対し、生活上の介助や学習指導上の支援を行った。
 - ・ 支援員 25人
 - ・ 配置校 8校(稚内中央小学校、稚内南小学校、稚内東小学校、稚内港小学校、潮見が丘小学校、稚内中学校、稚内南中学校、稚内東中学校)

② 確かな学力の定着

〈167・169・173 ページ〉

- 外国語指導助手派遣事業
 - ・ 小学校及び中学校全学校へ派遣し、英語教育の強化を図った。
 - ・ 外国語指導助手 3人
 - ・ 小学校派遣日数・授業時数 214日 546時間
 - ・ 中学校派遣日数・授業時数 175日 404時間

- 放課後学力ゲンゲン塾開催事業
 - ・ 基礎学力の定着を図るため、3・4年生を対象に、放課後や長期休業期間中、国語、算数の学習支援を行った。（長期休業期間は5年生も対象に行った。）
 - ・ 学校教育指導員 8人
 - ・ 実施校 4校(稚内中央小学校60人、稚内南小学校76人、稚内東小学校68人、潮見が丘小学校107人)

- 小学校教育振興事業(学校図書館協力員の配置)
 - ・ 新書や季節の本の特設コーナーを設置するなど、学校図書館を利用しやすくなるような環境整備や、読み聞かせや公立図書館との連携を通じて読書活動の推進を図った。
 - ・ 協力員を9小中学校に5人配置した。

- 小学校教育振興事業・中学校教育振興事業(学力検査の実施)
 - ・ CRT学力検査(小学校～国語・算数、中学校～国語・数学・英語)を小学校全学年及び中学校1、2学年で実施し、各校の現状を分析し、指導方法の工夫・改善に向け取り組んだ。
- 夢広がる学校づくり推進事業
 - ・ 子どもたちが学校での学びや生活に喜びを感じるとともに、地域と学校に誇りと夢を持てる創意工夫に基づく特色ある学校運営に取り組んだ。

- 科学文化鑑賞等事業
 - ・ 児童生徒が自ら主体的に考え、思考を深めるなど文化・情操教育の向上を図り、「豊かな人間性」を育むため、映画鑑賞の機会を提供した。

- 職員給与費(少人数教育事業)
 - ・ 市費採用教員 5人
 - ・ 配置校 4校(稚内中央小学校1人、稚内南小学校2人、稚内東小学校1人、潮見が丘小学校1人)
 - ・ 対象 小学校1～2年生 少人数学級
 - ・ 成果 一人ひとりの状況に応じた、きめ細やかな指導や基礎基本の徹底が図られた。

③ 社会の変化に対応した教育環境の整備

〈165・169・171 ページ〉

- 学校評議員設置事業
 - ・ 開かれた学校づくりの推進と、学校がより地域と連携・協力しながら特色ある教育活動を発展させるため、評議員を配置した。
 - ・ 評議員 55人(延べ38回実施)

○ 義務教育施設等の整備

- ・ 小学校耐震化事業 耐震補強工事(富磯小学校)

- ・ 稚内南小学校整備事業

▽29年度事業内容

屋内運動場(Ⅱ期目)が29年7月に完成し供用開始するとともに屋体周りの外構完成。
さらに旧校舎の一部と旧屋内運動場を解体し、跡地において新校舎建設工事を開始。
また、物置と温室を設置。

- ・ 工事監理等業務委託(屋内運動場Ⅱ期目)
- ・ 工事監理等業務委託(校舎Ⅰ期目)
- ・ 屋内運動場建設工事(Ⅱ期目)
- ・ 外構整備工事
- ・ 整備付帯工事(物置、温室設置工事)
- ・ 校舎解体工事
- ・ 校舎建設工事(Ⅰ期目)
- ・ 屋内運動場解体工事

▽総事業費(継続費設定分 平成27年度～平成31年度)

2,254,005千円

▽年度別事業内訳

平成27年度 実施設計業務委託

平成28年度 校舎解体工事

屋内運動場建設工事(Ⅰ期目)

工事監理等業務委託(屋内運動場Ⅰ期目)

平成29年度 屋内運動場建設工事(Ⅱ期目)

工事監理等業務委託(屋内運動場Ⅱ期目)

校舎・屋内運動場解体工事

校舎建築工事(Ⅰ期目)

工事監理等業務委託(校舎Ⅰ期目)

平成30年度 校舎建築工事(Ⅱ期目)

工事監理等業務委託(校舎Ⅱ期目)

平成31年度 校舎解体工事

工事監理等業務委託(解体)

▽新屋体・新校舎の概要

新屋体総面積 1,248 m² 鉄骨鉄筋コンクリート造一部2階建

新校舎総面積 4,834 m² 鉄筋コンクリート造3階建

- ・ 中学校整備事業 稚内南中学校屋内運動場照明改修工事
- ・ 中学校耐震化事業 耐震補強工事(稚内南中学校)

④ 高校・大学教育の振興

〈165・167 ページ〉

- 稚内北星学園大学修学支援事業（利子補給）
 - ・ 貸付枠 9億1,500万円（預託金の5倍）
 - ・ 利子補給率 1.125%
 - ・ 貸付人員 25人（貸付額 19,200千円） 昨年度 26人（貸付額 20,500千円）
- 稚内北星学園大学支援事業
 - ・ 運営費補助金 50,000,000円
 - ・ 運営費貸付金 50,000,000円
- 稚内大谷高等学校振興費補助事業
 - ・ 父母負担軽減助成金 2,000,000円
 - ・ 私立学校振興費 5,850,000円
- 稚内市奨学金貸付事業（高校就学に必要な資金の貸付）
 - ・ 貸付人員 35人（新規10人、継続20人、支度金5人）
- 稚内市大学育英金支給事業（給付）
 - ・ 支給対象者数 49人（新規9人、継続40人）

(3) 活気あふれる学びの場づくり

① 学ぶ心の育成

〈173・175・177・179・181 ページ〉

○ 社会教育推進事業

第8次稚内市社会教育中期計画に則り、これまで本市で培われてきた「子育て運動」を未来へと継承していくことを念頭に、楽しく学び、育ちあい、それぞれが「つながり」を保つことにより、誰もが輝けることを目標に掲げて社会教育の推進に努めた。

・ 地域指導者の活用

人材バンクの充実・有効活用（登録数113団体、指導者数50人）

各分野の活動団体を紹介する「学びと遊びの玉手箱」をホームページへ掲載し、更に関係施設に配置するなどして学習の場を周知すると共に、掲載情報の更新作業を行った。

- ・ 稚内学の開設
「稚内の遺跡について アイヌ文化・オホーツク文化を見に行こう」ほか 計7講座 受講者数 延べ123人
- ・ こども稚内学
「こども稚内学スタンプラリー」(みんなおいでよ！親子ふれあいデー内で実施)
稚内市にある地名などについて、クイズ形式で学習できるスタンプラリーを設置した。
- ・ 出前講座
木工、そば打ち、しめ飾り ほか 計10講座 受講者数 260人
- ・ 休日における学校外活動事業の実施
やさいクラブの開設 (12回実施 参加者数:児童19人、保護者24人、その他4人)
- ・ 市民講座の開催
《前期》
開催期間 平成29年6月6日(火)～10月12日(木)
講座内容 「プリザーブドフラワーアレンジメント講座」ほか 計7講座
受講者数 108人
《後期》
開催期間 平成29年10月12日(木)～平成30年3月8日(木)
講座内容 「初心者のための着付け教室」ほか 計9講座
受講者数 79人
(前期、後期の合計) 計16講座 受講者数 187人
- ・ 高齢者大学の開催
楽生大学(声問地区) 10講座 受講者数 延べ137人
長寿大学(宗谷地区) 8講座 受講者数 延べ31人

○ 成人式典開催事業

開催日時 平成30年1月7日(日)
開催場所 稚内総合文化センター
成人出席者数 239人 (対象者数 313人)

○ 子ども会育成事業

- ・ 南極樺太犬慰霊祭 参加者数 80人 (前年度 122人)
- ・ 稚内市子ども会スポーツ大会 参加者数 47人 (前年度 43人)
- ・ 第52回稚内市新年子ども会かるた大会 参加者数 37人 (前年度 40人)
- ・ 第15回宗谷管内子ども会かるた大会 小学生3チーム、中学生3チーム参加
(前年度 小学生3チーム、中学生1チーム参加)

○ 青少年交流体験事業

- ・ 太田市交流事業(フレンドシップ 2017) 受入
 実施日 平成 29 年 8 月 23 日(水)～8 月 27 日(日)
 事業内容 体験学習、ソーラン交流 ほか
 受入人数 94 人(小学生 69 人、中学生 7 人、高校生サポーター 8 人、指導者 10 人)
- ・ 青少年交流体験事業 てっぺん風の子交流団 派遣
 実施日 平成 30 年 1 月 8 日(月・祝)～1 月 12 日(金)
 事業内容 交流体験学習、ソーラン交流、歴史的建造物・産業の視察
 派遣人数 40 人(小学生 24 人、中学生 7 人、高校生サポーター 4 人、指導者 5 人)

○ 移動図書館運行事業

- ・ 運行日数 191 日
- ・ ステーション数 36 ステーション(月 2 回)
- ・ 利用者数 1,294 人(貸出冊数 4,907 冊) (昨年度 1,198 人(貸出冊数 4,218 冊))
- ・ 団体利用数 延べ 103 団体 (昨年度 延べ 82 団体)
- ・ ブックパック巡回 図書館で選書した学年層に合わせた図書(本のコンテナ:25 冊)を一定期間で巡回させる。(15 団体 幼稚園・保育園 6、小学校 6、中学校 3)

○ ブックスタート事業

- ・ 毎月、保健福祉センターで実施される 7～8 か月乳児健康相談に参加した親子に、絵本 2 冊、読み聞かせアトバイス集などの入った「ブックスタートパック」をプレゼント。(配布数 235 組)

○ 図書資料整備事業、図書館維持管理事業

- ・ 利用状況

	平成 28 年度	平成 29 年度
入館者数(開館日数)	117,842 人(290 日)	112,459 人(291 日)
貸出図書数(市民一人年間冊数)	147,373 冊(4.25 冊)	145,763 冊(4.24 冊)
総蔵書数(増加図書数)	212,679 冊(7,223 冊)	217,606 冊(7,739 冊)
登録者数(増加登録者数)	23,962 人(781 人)	24,551 人(729 人)
AV 視聴利用件数	3,550 件	2,849 件

○ 図書館活動事業

- ・ 映画会 58 回開催 参加者数 392 人
- ・ 読み聞かせ 49 回開催 参加者数 214 人
- ・ 子ども読書週間 期間中 5,370 人来館
- ・ 図書館フェスティバル 期間中 2,947 人来館
- ・ 夏休み子どもアニメ上映会 12 回開催 参加者数 延べ 110 人
- ・ 図書館まつり 期間中 5,757 人来館
- ・ 読書感想文コンクール 応募 16 校 224 編 入選者数 55 人
- ・ 冬休み子ども映画会 8 回開催 参加者数 延べ 36 人
- ・ 社会科見学等受入 14 件 580 人
- ・ インターンシップ等受入 高校 3 校、中学校 3 校 計 6 校 21 人
- ・ 職員派遣等協力 6 件

○ 図書館活動事業(図書館ボランティア団体との連携事業)

- ・ ブックスタートボランティア ラッコの会(会員数 3 人)
ブックスタート事業のボランティアとして、毎月、保健福祉センターで実施される 7～8 か月乳児健康相談に参加した親子に、絵本の読み聞かせや子育ての相談に応じる活動を実施
- ・ わっかない図書館友の会(会員数 200 人)
読み聞かせ、ハロウィン、アイスキャンドル「夢あかり」、ロビーコンサート、図書館周辺の環境整備(花壇)などを実施。図書館フェスティバル、図書館まつりへの協力
- ・ 声の図書館(会員数 15 人)
朗読ボランティアとして目の不自由な方たちに声の広報として、毎月 2 回「広報わっかない」、生活情報として「生活の広場」や、リクエストに応じた朗読 CD を作製、送付
「広報わっかない」「生活のひろば」各 12 枚作成、送付件数 168 件
- ・ 葉の会(会員数 9 人)
朗読ボランティアとして目の不自由な方たちに、毎月 1 回北海道新聞「卓上四季」や、リクエストに応じた朗読 CD を作製、送付
「卓上四季」12 枚作成、送付件数 72 件

○ 図書館活動事業(学校図書館支援事業)

- ・ 団体貸出の受け入れ
小学校 53 件 2,565 冊、中学校 6 件 638 冊、学校図書ボランティア 7 件 42 冊
- ・ 学校図書管理システム(市内小中学校 10 校)の管理・運用支援
- ・ 学校図書館ガイダンスの実施 小学校 6 件 96 人
- ・ 学校図書館活用交流会の開催(教育研究所との共催)年 1 回(6 月 30 日開催)

○ 青少年科学館主催事業

・ 青少年科学館 天文普及事業

- 市民天体観望会 7回開催(うち、3回はプラネタリウムの投映のみ) 参加者数 60人
(昨年度 7回開催 参加者数 62人)
- 移動天体観望会 2回開催 参加者数 17人(当初4回開催予定、天候不良により2回中止)
(昨年度 1回開催 参加者数 17人)
- プラネタリウム学習 随時開催 利用校数 14校 586人 (昨年度 18校 614人)

・ 青少年科学館 サイエンススクール事業

- オープンラボ 8回開催 参加者数 262人 (昨年度 6回開催 参加者数 269人)
- サイエンスショー 3回開催 参加者数 385人 (昨年度 3回開催 参加者数 352人)
- わくわくサイエンス 6回開催 参加者数 123人 (昨年度 6回開催 参加者数 154人)
- サマースクール 1回開催 参加者数 2日間延べ50人(昨年度 1回開催 参加者数 延べ38人)
- キッズチャレンジ 3回開催 参加者数 32人 (昨年度 3回開催 参加者数 51人)
- 冬休み自由研究 2回開催 参加者数 31人 (昨年度 2回開催 参加者数 54人)
- 大人のためのサイエンス工房 3回開催 参加者数 29人 (昨年度 1回開催 参加者数 9人)
- ちょこっとラボ 10回開催 参加者数 407人 (昨年度 7回開催 参加者数 155人)
- サイエンススタディ 2回開催 参加者数 94人
- 水族館&科学館「すいかまつり」 年1回開催 参加者数2日間延べ639人 (昨年度 245人)

・ 青少年科学館 プラネタリウム事業

- プラネタリウム一般投影 入場者数 3,524人 (昨年度 3,713人)
- 星空と音楽のタベ 5回開催 参加者数91人 (昨年度 5回開催 参加者数83人)
- 「南極の星空オーロラ」投影 参加者数1,785人 (昨年度 参加者数 2,038人)
- 星空、夢の贈りもの(朗読会) 1回開催 参加者数12人 (昨年度 1回開催 参加者数 23人)
- アロマと音楽でリラックス 2回開催 参加者数102人
- バレンタインデー特別企画 2回開催 参加者数11人

○ 青少年科学館管理運営事業

- ・ 青少年科学館入館者数 37,398人(昨年度 38,669人)
(うち年間パスポート利用者数 延べ2,202人(昨年度 延べ2,283人))

○ 少年自然の家維持管理事業

- ・ 少年自然の家総利用者数 17,963 人 (昨年度 17,012 人)
 - 宿泊者数 14,355 人 (昨年度 13,942 人)
 - 日帰り者数 3,608 人 (昨年度 3,070 人)
- ・ 少年自然の家利用者数内訳
 - 学校利用 年間延べ 438 団体、11,884 人 (昨年度 年間延べ 444 団体 11,091 人)
 - 社会教育団体利用 年間延べ 139 団体、3,790 人 (昨年度 年間延べ 144 団体、3,930 人)
 - その他利用 年間延べ 100 団体、2,289 人 (昨年度 年間延べ 113 団体、1,991 人)
- ・ 少年自然の家主催事業
 - 自然クラブ (1泊2日) 年間7回 143 人 (昨年度 年間7回 208 人)
 - わんぱくチャレンジ(日帰り及び宿泊) 年間5回(うち2回荒天により中止) 98 人
(昨年度 年間6回 196 人)
 - わくわく土曜日 (日帰り) 年間2回 81 人 (昨年度 年間2回 61 人)
 - 本気で自然体験 (日帰り及び宿泊) 氷上穴釣りの開催を予定していたが、氷の状態が悪いため中止
- ・ その他、少年自然の家の活動
 - 各学童保育所の受入れ 5 団体 延べ 348 人(昨年度 4 団体 延べ 356 人)
 - スポーツ合宿の受入れ 41 団体 延べ 5,306 人(昨年度 38 団体 延べ 5,455 人)

○ 水族館水族飼育事業、水族館施設維持管理事業

- ・ 水族館入館者数 37,398 人(昨年度 38,669 人)
(うち年間パスポート利用者数 延べ 2,202 人(昨年度 延べ 2,283 人))
- ・ 水族館 夏期開館式
 - 開館日 平成 29 年 4 月 29 日(土)
 - 入館者数 1,067 人(大人 570 人、小人 497 人)
 - 入館者(小人先着 200 人)に記念品を配布
- ・ 水族館夏期開館時間の延長(科学館と共同実施)
 - 開館時間を 19 時 30 分までとし、2 時間 30 分の延長を実施
 - 実施期間 平成 29 年 8 月 10 日(木)～8 月 16 日(水)
 - 時間延長による入館者数 125 人(大人 96 人、小人 21 人、幼児 8 人)
- ・ 水族館飼育体験学習
 - ペンギン・アザラシの飼育、給餌体験を通して動物とのふれあい
 - 体験校 13 校、生徒数 32 人(昨年度 8 校、23 人)
- ・ 水族館サマースクールの実施 (科学館と共同実施)
 - ペンギン・アザラシの給餌、アザラシ池の清掃、科学館での実験教室
 - 実施日 平成 29 年 8 月 3 日(木)～4 日(金)(2 日間)
 - 参加者数 延べ 50 人(小学校 4 年生～6 年生対象)

- ・ 水族館特別展示
 - ①「水族館で生まれたサカナたち」
 - 実施期間 平成 29 年 4 月 29 日(土)～5 月 24 日(水)
 - 入館者数 6,561 人(大人 4,200 人、小人 2,361 人)
 - ②水族館&科学館「すいかまつり」
 - プラ板寒流ストラップ、カニ釣り&ホタテ釣り、アザラシエサやり体験、パピイちゃんお披露目等
 - 実施期間 平成 29 年 9 月 23 日(土)～24 日(日)
 - 入館者数 639 人(大人 438 人、小人 201 人)
- ・ 移動水族館(タッチプール及びペンギン・アザラシ展示)
 - ①「第 5 回 わっかない海の駅まつり」
 - 実施日 平成 29 年 7 月 17 日(月) 稚内副港市場
 - ②「稚内養護学校はまなす寮祭」
 - 実施日 平成 29 年 7 月 27 日(木)
 - ③「児童館まつり」
 - 実施日 平成 29 年 9 月 30 日(土) 富岡児童センター
 - ④「稚内市こまどりスキー場スノーフェスタ 2018」
 - 実施日 平成 30 年 2 月 10 日(土) こまどりスキー場
- ・ 生物講師派遣
 - ①「磯遊び」及び「採取生物の観察」
 - 実施日 平成 29 年 8 月 21 日(月) 宗谷小学校
 - 参加者 全校生徒
 - 生徒からの生物や生態についての質問に対応する。

② 芸術・文化活動の普及・推進

〈177 ページ〉

- 稚内市民文化祭
 - ・ 第 48 回稚内市民書道展
 - 稚内書道連盟／文化センター小ホール／平成 29 年 9 月 1 日(金)～3 日(日)
 - ・ 第 56 回市民俳句大会
 - 市民俳句大会実行委員会／文化センター美術室／平成 29 年 9 月 3 日(日)
 - ・ 第 20 回わっかないソーラン祭
 - わっかない最北烈風隊／第一副港側特設ステージ／平成 29 年 9 月 3 日(日)
 - ・ 二派合同華道展
 - 池坊、東池坊／文化センターロビー／平成 29 年 9 月 15 日(金)～17 日(日)
 - ・ 合同茶会
 - 宗徧流正伝庵、和敬会／文化センター小ホール、婦人文化室／平成 29 年 9 月 17 日(日)
 - ・ 第 35 回市民盆栽展
 - 稚内盆栽愛好会／文化センター小ホール／平成 29 年 9 月 16 日(土)～17 日(日)

- ・ 第 39 回あぼろん展
あぼろん展実行委員会／文化センター小ホール／平成 29 年 9 月 22 日(金)～24 日(日)
- ・ 第 41 回道民芸術祭・第 56 回稚内市民総合芸能祭
稚内市文化協会／文化センター大ホール／平成 29 年 9 月 24 日(日)
- ・ 第 49 回宗谷管内芸術祭短歌大会・第 56 回市民短歌大会
短歌大会実行委員会／市立図書館／平成 29 年 10 月 15 日(日)
- ・ 混声合唱団稚内フラウエンコール第 32 回定期演奏会
混声合唱団稚内フラウエンコール／文化センター大ホール／平成 29 年 11 月 12 日(日)
- ・ エンジェルボイスウインターコンサート 2017
稚内子どもミュージックサークルエンジェルボイス／文化センター大ホール／平成 29 年 12 月 17 日(日)

○ 文化事業(主催、共催)

- ・ 第 55 回北海道吹奏楽コンクール稚内地区予選及び第 39 回稚内地区吹奏楽祭
- ・ 第 40 回稚内地区管楽器個人コンクール・第 41 回稚内地区アンサンブルコンクール
- ・ 北部航空音楽隊 自衛隊稚内基地開庁記念コンサート
- ・ 第 16 回 SO-YA 夢コール合同合唱祭

③ 生涯スポーツの推進

〈183・185 ページ〉

○ 平和マラソン・平和駅伝開催事業

- ・ 日本最北端平和マラソン大会
実施日 平成 29 年 9 月 3 日(日)
エントリー 1,304 人、完走者 1,162 人 (昨年度 エントリー 1,258 人、雨天につき中止)
- ・ 日本最北端平和駅伝大会
実施日 平成 29 年 9 月 16 日(土)
27 チーム、参加者数 120 人 (昨年度 31 チーム、参加者数 136 人)

○ 健康体力づくり推進事業

- ・ 体力づくり強調月間事業(年齢別体力測定事業)
1 回、参加者数 18 名 (昨年度 1 回、参加者数 20 人)
- ・ ニュースポーツの普及・啓発
ニュースポーツ体験事業 稚内養護学校 6 人
まちづくり出前講座 1 件、56 人
ニュースポーツ用具の貸出 145 件
- ・ ウォーキング事業
歩こう会 4 回、参加者数 63 人
大步こう会 参加者数 43 人

○ スポーツ大会補助事業

・ スポーツ全国大会出場補助金

第 60 回小学生・中学生全国空手道選手権大会

平成 29 年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会 第 85 回日本高等学校選手権水泳競技大会

第 7 回全日本少年軟式野球クラブチーム選抜大会

第 6 回全国ミックス 4 人制ビーチバレー品川 SBA 大会

第 40 回(2017 年度)全国 JOC ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会

第 36 回 JSBA 全日本スノーボード選手権大会

・ スポーツ大会開催補助金

平成 29 年度北海道中学校大会兼第 47 回北海道中学校バレーボール大会

全日本バレーボール小学生大会北北海道大会

○ 市民スポーツ活動促進事業

・ 各種市民スポーツ活動促進事業

ジュニアスポーツ教室 11 教室、登録者数 260 人

親子スポーツ教室 18 組

友好都市(石垣市)スポーツ交流事業 稚内市 16 人

・ スポーツ教室の開設

種目別スポーツ教室 4 種目 5 教室、受講者 50 人

何でもスポーツ教室 受講者 0 人のため中止

チャレンジスポーツクラブ 受講者 26 人

・ スポーツ講習会の実施

卓球講習会 参加者延べ 86 人

・ 市民皆スポーツの推進

市民参加型競技大会実施奨励と助成 15 団体

・ 指導者育成事業

研修会実施(172 人)、体力テスト等スポーツ活動普及拡大(1 団体 31 人)、公認指導者資格取得及び資格

更新講習会の参加(3 人)、交通費助成

・ 体育施設利用促進事業

健康スポーツクラブの活動奨励と活動支援

・ 表彰事業

功労賞(5 人)、功績賞(5 人)及び有功賞表彰(1 団体 3 個人)並びに受賞祝賀会の実施

・ 競技力向上事業

全国大会出場及び全国等研修事業参加助成 2 団体、個人 9 人

全道等強化事業及び研修事業参加助成 5 団体、5 事業

外部指導者等による研修事業開催助成 30 団体、52 事業

加盟団体主催強化事業助成 3 団体

- ・ 競技力向上研修会
 - 5 種目 延べ 327 人
 - ・ ボーリング研修会 39 人
 - ・ カーリング研修会 24 人
 - ・ サッカー研修会 123 人
 - ・ バスケットボール研修会 100 人
 - ・ スノーボード研修会 41 人

○ スポーツ施設整備及び維持管理事業

- ・ 整備工事
 - 総合体育館 温水ボイラー更新工事
 - 温水プール水夢館 温水ボイラー更新工事、デジタル指示調節計整備工事
 - こまどりスキー場 ペアリフト非常用制動機取替工事、第 2 リフト動力幹線改修工事
 - 大沼球場 第 2 球場照明点灯盤移設工事
- ・ スポーツ施設利用状況

施設名	利用者数	
	平成 28 年度	平成 29 年度
総合体育館	48,694 人	54,980 人
市体育館	15,334 人	16,286 人
緑体育館	18,284 人	18,746 人
スポーツセンター（カーリング場、弓道場、アーチェリー場）	2,904 人	3,378 人
野球場（大沼球場、市営球場、若葉球場）	28,546 人	22,202 人
球技場（富士見球技場、若葉球技場）	11,957 人	9,810 人
ノシャップソフトボール場	925 人	501 人
庭球場（緑庭球場、宝来庭球場）	4,839 人	4,279 人
スキー場（こまどり・上勇知各スキー場）	22,877 人	25,659 人
東スケートリンク	休止	休止
パークゴルフ場（こまどり・ノシャップ公園各パークゴルフ場）	24,181 人	22,451 人
坂の下海水浴場	2,016 人	1,160 人
学校体育館開放（中央小、南小、東小、潮見が丘小、港小、東中）	20,515 人	18,840 人
水泳プール（潮見が丘・沼川・上勇知各水泳プール、水夢館）	103,160 人	105,360 人
（うち温水プール水夢館）	（99,944 人）	（102,340 人）

④ 歴史の継承と文化財の保護・保存の推進

〈177・181 ページ〉

- 旧瀬戸邸維持管理事業
 - ・ 旧瀬戸邸入館者数 12,249 人(昨年度 14,001 人)

- 樺太資料展示施設整備事業 ※新規

樺太と稚内の歴史と文化を保持・継承するほか、一般市民に樺太とのつながりを紹介するため、稚内市樺太記念館を整備した。

 - ・ 樺太展示施設整備実施設計等業務委託料(5,290 千円)
 - ・ 樺太資料展示施設整備工事(29,700 千円)
 - ・ 樺太資料展示施設器具購入費(2,930 千円)

- 北方記念館管理事業
 - ・ 北方記念館入館者数 18,652 人(昨年度 18,878 人)
 - ・ 企画展の開催
 - ① 北方記念館ミニ企画展『稚内の鉄道-天北線の記憶-』
平成 29 年 4 月 29 日(土)～平成 29 年 5 月 31 日(水)
 - ② 平成 29 年度宗谷管内巡回展『最北の縄文文化展』
平成 29 年 7 月 30 日(日)～平成 29 年 8 月 20 日(日)
 - ③ 海からの贈り物展
平成 29 年 8 月 1 日(火)～平成 29 年 10 月 30 日(月)
 - ④ 稚内と蒸気機関車
平成 29 年 11 月 10 日(金)～平成 30 年 4 月 16 日(月) (稚内副港市場 港ギャラリーにて展示)

分野2 保健・医療・福祉

「みんなで育てる笑顔（ほほえみ）あふれるまちを目指して」

(1) 健康づくりの推進と医療の充実

① 医療体制の充実

〈95・127・133 ページ〉

○ 医師確保対策事業(開業医誘致推進)

- ・ 診療所を開設するにあたり、下記の2件に対し、土地・建物等の取得に係る経費や賃借料の一部を助成したほか、開業資金の貸付けを行った。

- 1.医療法人社団オロン会 南稚内クリニック(内科・小児科・外科) 平成29年6月開業
- 2.わっかない耳鼻咽喉科(耳鼻咽喉科) 平成29年10月開業

○ 医師確保対策事業(地域医療の充実)

市立病院をはじめ、本市の病院及び診療所を市民が協力しながら支えることにより、地域医療の充実を図り、誰もが安心して住み続けられる地域を構築することを目的として、市内19団体によって構成する地域医療を考える稚内市民会議により、様々な取組みを実施した。

- ・ 医療と健康のまちづくり応援団の設立 ※新規

地域医療について関心を持ち、市民一人ひとりが健康で暮らし続けられるように「病院応援団」・「健康応援団」・「未来応援団」・「医師誘致応援団」の四つの課題別応援団から構成される「医療と健康のまちづくり応援団」が結成された。

- ・ 救急受診チャート「みかた」の作成 ※新規

症状に応じた医療機関へのかかり方や、救急車要請の目安、身体に急な異常が発生した際の対応方法などを適切に判断するためのガイドブックを製作し、平成29年7月号の広報誌とともに全戸配付した。

- ・ 第3回稚内の医療を考える市民の集いの開催

開催日等 平成29年11月1日(水) 稚内総合文化センター 小ホール
参加者数 約180人

- ・ 夢は医者☆未来を拓く講演会の開催

開催日等 平成30年1月27日(土) 稚内市立稚内中学校
参加者数 28人

開催日等 平成30年2月13日(火) 稚内市立稚内東小学校
参加者数 59人

- ・ 医師らに対して、感謝の気持ちをメッセージで伝える取組みの実施

平成29年4月1日から平成30年3月31日 256通(継続実施中)

○ 救急医療確保対策補助事業 ※新規

- ・ 脳卒中における救急告示医療機関として休日または夜間において救急医療を担う医療機関に対して、運営に要する経費の一部を補助することを目的に創設した。(補助率 1/2、限度額 2,000 万円)

交付先 社会医療法人禎心会 稚内禎心会病院

○ 市立稚内病院の運営及び整備

- ・ サービスアップの推進
- ・ 医師及び医療技術職員の確保対策
- ・ 医療従事者を目指す中学生を対象に医療探検講座の開催
- ・ 医療機器の整備(内視鏡システム、外科用X線テレビシステム、超音波診断装置 等)
- ・ 精神科病棟改修(建築、設備)、本館施設整備(放射線科X線撮影室冷房機設置工事 等)
- ・ 精神科病床 100 床から 70 床へ変更(病床数 332 床)

○ 市立稚内こまどり病院の運営

- ・ 療養型病床数 45 床

② 心とからだの健康づくりをサポート

〈121・127・129 ページ〉

○ 健康増進センター管理運営事業

- ・ 平成 27 年 6 月 22 日(月) (開館 6,232 日目) 入館者数 430 万人達成
- ・ 平成 27 年 12 月 30 日(水) (開館 6,415 日目) 入館者数 440 万人達成
- ・ 平成 28 年 7 月 17 日(日) (開館 6,607 日目) 入館者数 450 万人達成
- ・ 平成 29 年 2 月 22 日(水) (開館 6,800 日目) 入館者数 460 万人達成
- ・ 平成 29 年 8 月 24 日(木) (開館 6,976 日目) 入館者数 470 万人達成

[利用状況]

	平成 28 年度	平成 29 年度	開館からの累計
開館日数	332 日	347 日	7,181 日
入館者数	175,687 人	176,356 人	4,795,366 人
うち観光客	15,756 人	16,885 人	477,847 人
うち外国人	722 人	790 人	34,929 人
月平均利用者数	14,641 人	14,700 人	19,258 人
日平均利用者数	529 人	508 人	667 人

○ 予防接種対策事業、エキノコックス症対策事業

事業内容	区分	平成28年度	平成29年度
予 防 接 種			
四種混合	接種者数	930 人	906 人
三種混合	接種者数	0 人	0 人
二種混合（ジフテリア・破傷風）	接種者数	282 人	257 人
不活化ポリオ(小児マヒ)	接種者数	18 人	7 人
BCG	接種者数	233 人	239 人
麻しん・風しん混合(MR)ワクチン1・2期	接種者数	478 人	466 人
水痘	接種者数	442 人	397 人
子宮頸がん予防ワクチン接種	接種者数	14 人	13 人
ヒブワクチン接種	接種者数	946 人	883 人
小児用肺炎球菌ワクチン接種	接種者数	965 人	885 人
日本脳炎	接種者数	1,693 人	1,558 人
B型肝炎	接種者数	378 人	672 人
高齢者等インフルエンザ予防接種	助成者数	5,132 人	5,097 人
肺炎球菌ワクチン接種	助成者数	590 人	697 人
エキノコックス症血液検査	受診者数	142 人	335 人

○ 歯の健康推進事業

- ・ 歯と口の健康フェスティバルを開催

開催日等 平成29年6月10日(土) 稚内市保健福祉センター

参加人数 301人

○ 健康手帳交付事業、健康教育事業、健康相談支援事業

事業内容	区分	平成28年度	平成29年度
健康手帳交付事業	交付者数	476 人	479 人
健康教育事業	実施回数	59 回	56 回
	受講者数	1,680 人	1,813 人
健康相談支援事業	実施回数	42 回	35 回
	実施人数	302 人	281 人
訪問指導	実施人数	68 人	44 人

○ がん検診事業、骨粗鬆症検診事業、肝炎ウイルス検診事業

事業内容	区分	平成28年度	平成29年度
胃がん検診	受診者数	960人	919人
子宮がん検診	受診者数	617人	780人
超音波検査	受診者数	604人	788人
乳がん検診	受診者数	771人	670人
肺がん検診	受診者数	1,783人	1,662人
喀痰検査	受診者数	59人	59人
大腸がん検診	受診者数	1,724人	1,634人
前立腺がん検診	受診者数	734人	706人
骨粗鬆症検診	受診者数	664人	636人
肝炎ウイルス検診	受診者数	260人	220人

・ 新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業

一定年齢に到達した対象者に対し、無料で検診を受けられるクーポンを発行して受診を促した。

子宮がん検診 12人、乳がん検診 76人

○ ピロリ菌除菌事業

- ・ 中学2、3年生を対象に、ピロリ菌の検査及び、ピロリ菌陽性者で希望する者に対し、除菌治療を実施した。

ピロリ菌検査 延べ224人、除菌治療 8人

(2) 子どもたちが健やかに生まれ育つ環境づくり

① 妊娠・出産期の支援の充実

〈127 ページ〉

○ 妊婦健康支援事業、特定不妊治療費助成事業、

事業内容	区分	平成28年度	平成29年度
マタニティ教室	実施回数	19回	18回
	受講者数	122人	102人
育児教室	実施回数	6回	6回
	受講者数	46人	70人
妊婦健康診査	受診件数	4,675件	3,814件
特定不妊治療費助成事業	助成人数	27人	15人
こんにちは赤ちゃん事業	実施者数	195人	190人

② 子どもたちの健全な成長を支援

〈123・127 ページ〉

○ 早期療育通園センター管理運営事業

- ・ 運動、知的、言語等の発達に遅れや障がい等があると思われる幼児等及びその家族に対して、児童福祉法に基づく児童発達支援(就学前児童)及び放課後等デイサービス(就学児童)としての指導及び相談を実施した。

利用人数 延べ 2,269 人(うち他町村 358 人)

(昨年度 延べ 2,783 人(うち他町村 336 人))

○ 養育医療給付事業

- ・ 養育のため入院が必要な未熟児に対して、医療費の一部を給付した。

年度	平成 28 年度	平成 29 年度
給付実績	7 人	3 人

○ 乳幼児健診・相談事業、親子健康教育事業、乳幼児歯科健診事業

事業内容	区分	平成 28 年度	平成 29 年度
乳幼児健康診査など			
3～4 か月児 健康診査	健診回数	12 回	12 回
	受診者数	236 人	228 人
7～8 か月児 健康相談	相談回数	12 回	13 回
	受診者数	236 人	236 人
1 歳児 健康相談	相談回数	12 回	12 回
	受診者数	234 人	233 人
1 歳 6 か月児 健康診査	健診回数	14 回	14 回
	受診者数	262 人	229 人
3 歳児 健康診査	健診回数	14 回	15 回
	受診者数	250 人	262 人
股関節脱臼検診	検診回数	12 回	12 回
	受診者数	240 人	207 人
母子訪問	実施者数	510 人	442 人
親子のクッキング教室	実施回数	3 回	3 回
	受講者数	60 人	81 人
フッ化物塗布事業	実施回数	39 回	39 回
	実施者数	754 人	706 人
サホライド塗布事業	実施回数	39 回	39 回

③ 総合的な子育て支援体制の整備推進

〈121・123・125 ページ〉

○ ファミリーサポートセンター事業

- ・ 会員同士が子育ての相互援助活動を行う組織

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度
お願い会員(依頼会員)	190 人	172 人
まかせて会員(提供会員)	54 人	51 人
両方会員	27 人	28 人
合 計	271 人	251 人

○ 児童家庭相談援助事業

- ・ 要保護児童対策地域協議会の開催

	平成 28 年度	平成 29 年度
個別ケース検討会議	25 回	11 回

- ・ 家庭児童相談員を配置し、家庭における適正な児童養育、その他家庭児童福祉の向上を図るため、相談及び指導を行った。

[相談件数]

相談内容	平成 28 年度	平成 29 年度
養護相談(児童虐待含む)	64 件	70 件
障がい相談	1 件	3 件
非行相談	0 件	2 件
育成相談	10 件	6 件
その他相談	9 件	6 件
合 計	84 件	87 件

○ 母子家庭等自立支援事業

- ・ 母子・父子自立支援員を配置し、母子家庭等の自立支援及び相談にあたった。

[相談件数]

相談内容	平成 28 年度	平成 29 年度
生活一般(医療など)	14 件	0 件
児童(養育・就職など)	1 件	2 件
経済的支援・生活援護	70 件	64 件
合 計	85 件	66 件

- ・ 母子家庭等の主体的な能力開発の取組を支援し、自立の促進を図るための給付金を支給した。

事業名・年度	平成 28 年度		平成 29 年度	
	相談	受講	相談	受講
自立支援訓練給付金	0 件	0 人	0 件	0 人
高等技能訓練促進給付金	0 件	1 人	0 件	0 人

○ ひとり親家庭等医療費助成事業

	対象者数	助成件数	
		入院	その他
母及び父、三親等	386 人	79 件	4,340 件
児童	577 人	39 件	5,030 件

○ 乳幼児等医療費助成事業

	対象者数	助成件数	
		入院	その他
小学校就学前	1,428 人	429 件	21,837 件
小学生	1,231 人	73 件	13,093 件
中学生	640 人	25 件	4,654 件

○ 保育所保護者負担金助成事業

- ・ 子育て家庭に対する経済的負担の軽減を図るため、子どもが 2 人以上いる家庭へ保育料の一部を助成する少子化対策事業

助成児童数 延べ 142 人 (昨年度 延べ 167 人)

○ 児童手当支給事業

区 分		3 歳未満	3 歳～小学校修了前	中学生
児童手当	被用者	5,329 人	19,049 人	6,997 人
	非被用者	1,280 人	4,525 人	1,656 人
特例給付		331 人	1,386 人	598 人
合 計		6,940 人	24,960 人	9,251 人

○ 児童扶養手当給付事業

- ・ 父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と自立促進のために支給した。

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度
全部支給者	2,197 人	2,099 人
一部停止者	2,497 人	2,457 人
2 子加算	1,841 人	1,753 人
3 子以降加算	355 人	304 人
合 計	6,890 人	6,613 人

○ 保育所管理運営事業

[平成 29 年度 児童数]

	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合 計	定 員
白樺保育所	6 人	10 人	12 人	10 人	11 人	14 人	63 人	100 人
港保育所	3 人	9 人	11 人	11 人	10 人	10 人	54 人	100 人
(公立保育所 計)	9 人	19 人	23 人	21 人	21 人	24 人	117 人	200 人
富岡保育園	7 人	12 人	14 人	14 人	12 人	11 人	70 人	60 人
もぐもぐ保育園			6 人	9 人	4 人	7 人	26 人	30 人
オアシス保育園	7 人	11 人	14 人	12 人	12 人	8 人	64 人	60 人
きらきら保育園	7 人	12 人	14 人	10 人	12 人	11 人	66 人	60 人
(私立保育所 計)	21 人	35 人	48 人	45 人	40 人	37 人	226 人	210 人
(市内保育所 計)	30 人	54 人	71 人	66 人	61 人	61 人	343 人	410 人
沼川保育所			1 人	5 人	6 人	5 人	17 人	50 人
勇知保育所								30 人
恵北保育所			2 人	1 人	1 人		4 人	30 人
宗谷保育所				22 人	16 人	13 人	51 人	60 人
(へき地保育所 計)			3 人	28 人	23 人	18 人	72 人	170 人
合 計	30 人	54 人	74 人	94 人	84 人	79 人	415 人	580 人

○ へき地保育所整備事業 ※新規

- ・ 宗谷保育所整備工事 1 件 113,346,000 円

木造平屋建て延べ面積:393.34 m²(遊戯室、保育室 4 室、保育士室、他)

○ 子どものための保育給付費支給事業

子ども・子育て支援法に基づく支給認定を受けた子どもの保育に要した費用を特定保育施設へ支弁した。

・ 支給対象人員

		乳児	1～2歳児	3歳児	4歳以上児	合計
保育所（2号）	標準			459	857	1,316
	短時間			78	78	156
保育所（3号）	標準	228	931			1,159
	短時間	5	78			83
合計		233	1,009	537	935	2,714

※ 2号認定：満3歳以上の保育の必要性の認定を受けた就学前子ども

※ 3号認定：満3歳未満の保育の必要性の認定を受けた就学前子ども

○ 病児保育事業 ※新規

[利用状況]

	平成29年度
登録者数	82人
利用人数	43人

○ 地域子育て支援事業

年度	箇所数	交流の場利用者数		相談件数	情報提供件数
		子ども	保護者		
平成28年度	3か所	10,267人	8,295人	190件	2,288件
平成29年度	3か所	8,328人	6,772人	276件	2,257件

○ 児童館管理運営事業

・ 児童館活動、「子ども通貨タラ」事業

[利用状況（※その他利用を除く）]

	平成28年度	平成29年度
中央児童館	4,902人	2,876人
東児童館	9,841人	9,558人
富岡児童センター	11,621人	10,300人
港ふれあいセンター	2,995人	3,141人
富士見児童会館	42人	1人
南地区プレーパーク	650人	廃止
南児童館	4,866人	5,450人
合計	34,917人	31,326人

○ 学童保育所管理運営事業

[利用状況 (年間平均登録児童数)]

名称 (定員)	平成 28 年度	平成 29 年度
中央学童保育所 (35)	18 人	22 人
緑学童保育所 (60)	53 人	45 人
東学童保育所 (35)	48 人	54 人
富岡学童保育所 (35)	49 人	54 人
合 計	168 人	175 人

○ 放課後子ども教室推進事業

[利用状況]

	平成 28 年度	平成 29 年度
声間小放課後子ども教室	1,717 人	1,474 人
増幌小放課後子どもふれあい教室	1,357 人	1,513 人

(3) 支え合いだれもが安心して暮らせるまちづくり

① 地域の助け合いによる福祉の推進

〈115・121 ページ〉

○ 稚内市社会福祉協議会運営費補助事業

- ・ 交付先 稚内市社会福祉協議会
- ・ 主な事業内容 福祉団体の事務局業務
共同募金助成事業
地域福祉推進事業
居宅介護事業 等

○ 民生児童委員活動支援事業

- ・ 各民生委員、児童委員 (123 人) が行った相談・支援の年間延べ件数

[活動状況]

区 分	平成 28 年度		平成 29 年度	
	相談・支援件数	活動日数(延べ)	相談・支援件数	活動日数(延べ)
民生委員(児童委員)111 人	4,389 件	12,942 日	4,420 件	12,748 日
主任児童委員 12 人	368 件	948 日	274 件	916 日
合 計	4,757 件	13,890 日	4,694 件	13,664 日

○稚内市遺族会運営費補助事業

- ・ 交付先 稚内市遺族会
- ・ 主な事業内容 稚内市遺族会戦没者忠霊碑供養法要の開催
北海道護国神社例大祭の参加
北海道戦没者遺族大会の参加 等

○稚内市社会を明るくする運動推進委員会運営費補助事業

- ・ 交付先 稚内市社会を明るくする運動推進委員会
- ・ 主な事業内容 街頭啓発活動
社会浄化研修会の開催 等

○声問ノーマライゼーション推進委員会運営費補助事業

- ・ 交付先 声問ノーマライゼーション推進委員会
- ・ 主な事業内容 ふれあい夏祭り
ふれあい観劇会
ふれあいもちつき会 等

○ 総合福祉センター管理運営事業

利用者数 30,190 人 (昨年度 32,814 人)

② 高齢者福祉の推進

〈119・121・261・267・269 ページ〉

○ 各種在宅介護支援事業の利用状況

事業名	区分	平成28年度	平成29年度
◆外出支援事業 (一般の交通機関の利用が困難な高齢者の移動手段として、特殊仕様の車両により外出活動を支援)	利用登録者数	68人	60人
	延べ利用回数	1,135回	830回
◆緊急通報装置給付運営事業 (日常生活に支障のある一人暮らしの高齢者宅に緊急通報装置を設置して、急病などの緊急時に対応)	設置台数	21台	18台
◆簡易型緊急通報装置給付運営事業 (65歳以上の一人暮らしの方の高齢者宅に簡易型の緊急通報装置を設置して、緊急時に対応)	設置台数	140台	133台
◆訪問理美容サービス事業 (障がいなどのため理美容院に出向くことが困難な方の居宅において、理美容師が訪問のうえサービスを実施)	延べ利用人数	3人	0人
◆重度要介護者居宅サービス利用支援事業 (要介護4又は5の方を在宅で介護している低所得者の方に対する支援)	利用登録者数	32人	34人
◆介護保険サービス利用者負担軽減事業費補助事業 (要介護被保険者等のうち、低所得で特に生計が困難である方を対象にサービス利用に係る負担額を一部軽減)	利用登録者数	70人	68人
◆家族介護用品支給事業 (要介護4又は5の低所得者に対してオムツなどを購入できるクーポン券を交付)	申請登録者	56人	57人
	延べ支給件数	618件	575件
◆配食サービス事業 (一人暮らしなどの理由で、調理が困難な高齢者世帯に配食と安否の確認を行う)	実利用人数	313人	416人
	延べ利用食数	3,301食	4,796食
◆命のバトン事業 (65歳以上の一人暮らし又は65歳以上のみの2人世帯に、救急時に必要な情報を保管する専用のキットを配布する)	配布数	179人	102人

○ 高齢者社会参加・生きがいづくり

事業名	区分	平成28年度	平成29年度
◆敬老祝品及び敬老祝金支給事業			
敬老祝品	支給人数	552人	616人
敬老祝金	支給人数	77歳	404人
		88歳	172人
		100歳	9人
◆高齢者社会参加活動事業			
バス乗車支援事業	対象者数	7,490人	7,720人
JR乗車支援事業（抜海・勇知地区）	対象者数	62人	61人
◆高齢者入浴支援事業	対象者数	10,712人	10,867人
	延べ利用人数	17,853人	18,424人
◆老人福祉センター管理運営事業	利用登録者	349人	322人
	延べ利用者	12,708人	11,413人

○ 各種活動への支援

事業名	区分	平成28年度	平成29年度
稚内市老人クラブ連合会運営費補助事業	クラブ数	41 <i>クラブ</i>	42 <i>クラブ</i>
稚内市老人クラブ交付金	会員数	1,495人	1,466人
長寿ふれあい交流事業費補助事業	助成町内会	68 <i>町</i>	68 <i>町</i>
	助成対象者数	7,837人	8,017人

○ 地域介護・福祉空間整備等事業費補助事業

- ・ 高齢者施設等の防犯対策を強化するため、非常通報装置・防犯カメラの設置や外構等の設置・修繕など必要な安全対策事業を行う事業者に対し交付金を交付した。

【平成29年度】2法人(3事業所)に対し交付金を交付

○ 介護認定審査会事務

- ・ 宗谷北部介護認定審査会の開催(51回開催)
- ・ 稚内市分認定件数 1,775件(実人数 1,712人 ※平成30年3月末 要介護認定者数)

○ 介護認定調査事務

- ・ 介護認定調査数 1,816件(市直営調査 1,602件、委託調査 214件、直営率 88.2%)

○ 短期集中予防サービス事業（通所型、訪問型）

事業名	区分	平成28年度	平成29年度
運動器の機能向上事業	実施回数	47回	48回
	参加者数	473人	147人
栄養改善事業	実施回数	0回	8回
	参加者数	0人	8人
口腔機能向上事業	実施回数	17回	9回
	参加者数	17人	9人

※平成28年度までは、二次予防高齢者介護予防事業(通所型)

○ 地域介護予防活動支援事業

事業名	区分	平成28年度	平成29年度
◆介護予防サポーター等養成(育成)	実施回数	3回	3回
	養成等数	48人	51人
◆地域での介護予防教室・通いの場 (介護予防サポーター活動人数含む)	実施回数	7回	26回
	延べ参加人数	101人	648人

※平成29年度の「地域での介護予防教室・通いの場」についての実施回数及び延べ参加人数は包括支援センターが直接支援を行った分を計上

○ 介護予防普及啓発事業

事業名	区分	平成28年度	平成29年度
普及・啓発など ◆認知症予防教室(脳の健康教室) ◆いきいき栄養教室 ◆健康運動教室 ◆介護予防教室	実施回数	110回	108回
	延べ受講人数	3,104人	3,284人
相談事業 ◆高齢者健康相談事業	実施回数	74回	71回
	延べ参加人数	1,150人	959人
その他 ◆介護予防手帳の交付	交付者数	41人	25人

○ 地域リハビリテーション活動支援事業

事業名	区分	平成28年度	平成29年度
地域リハビリテーション活動支援事業	実施回数	2回	4回
	延べ参加人数	12人	37人

○ 地域包括支援センターの運営

保健師、主任ケアマネジャー、社会福祉士等の専門職を配置して、高齢者が地域で安心して生活していくための地域包括ケア体制づくりに向けて、保健福祉の総合的な相談、虐待防止、要介護状態への移行を防止するための介護予防に関する事業などを実施した。

また、社会保障充実分として包括的支援事業に位置づけられている、認知症総合支援事業、在宅医療・介護連携推進事業等を実施した。

〔活動状況〕

事業名	区分	平成28年度	平成29年度
◆総合相談支援事業 (在宅介護支援センター委託分含む)	延べ対応人数	7,098人	7,191人
◆介護予防ケアマネジメント (二次予防高齢者の介護予防プランの作成)	作成者数	36人	—
◆地域ケア支援事業 (地域ケア会議研修会、個別ケース会議等の開催)	開催回数	12回	7回
◆権利擁護事業 (高齢者虐待、成年後見制度など)	延べ対応人数	1,290人	575人

※二次予防高齢者の介護予防ケアマネジメントは、平成29年4月より介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴い、平成29年3月末で終了

○ 認知症総合支援事業

認知症初期集中支援推進事業として、認知症初期集中支援チームによる早期診断・早期対応に向けた支援を行った。また、地域包括支援センターに配置している認知症地域支援推進員の活動の一環として、オレンジカフェ(認知症カフェ)開催の支援や「わからない認知症の方を支える家族の会 ほっとする会」の運営に関する後方支援を行った。

更に平成29年度は、認知症を知るきっかけの一つとして、また認知症の知識を共有することで認知症になっても地域でサポートし合えるまちをつくるための参加・体験型普及啓発活動としてRUN 伴(ラントモ)というイベントに参加した。

		平成28年度	平成29年度
初期集中支援	相談受理数	11人	11人
	対応終了	9人	5人
	継続支援	2人	6人
	チーム員会議開催回数	3回	4回
カフェ	開催数	4回	8回
	参加者数	51人	61人
家族会	開催数	4回	4回
	参加者数	29人	43人
RUN 伴参加者数		—	97人

○ 生活支援体制整備事業

福祉関係者をはじめ、多様な団体等を構成員とし、市民主体による地域の支え合い体制づくりを推進していくための「稚内市生活支援・介護予防サポート推進検討会(全市)」を1回開催した。

また、介護予防・生活支援サービスに関する資源開発、関係者間の調整を行う全市及び日常生活圏域の「生活支援コーディネーター」を中心に、4地区において地域検討会を開催し、地域の支え合いの体制づくりについて話し合った。

○ 在宅医療・介護連携推進事業

市内の医療・介護の関係機関・関係団体などと協力して、在宅医療・介護の連携を推進するため、以下の活動を実施した。

[平成29年度事業実績]

1. 課題抽出・対応策検討のための会議開催 (6回)

・在宅医療・介護連携推進検討会(てっぺんの会)開催

2. 地域の医療・介護の資源把握 及び 関係者間の情報共有の支援

3. 医療・介護関係者の連携推進

・多職種研修会開催 (2回) 参加者延 131名

4. 住民への普及啓発

・市民講演会開催「安心して住み続けるための医療・介護と地域の繋がり」参加者 185名

・「高齢者のための在宅療養パンフレット『これまでも これからも』」作成・配布

5. 在宅医療・介護連携相談窓口設置

医療や介護の従事者からの在宅医療と介護連携に関する相談や、市民からの在宅療養に関する相談に対する窓口設置

		平成29年度(12月～)
相談件数		9件
相談元	医療	7件
	介護	2件

6. 管内市町村連携の推進

・管内市町村の広域連携意見交換会出席

・管内市町村及び地域包括支援センターに対する基幹病院との連携に係るアンケートを実施

○ 認知症サポーター等養成事業

事業名	平成28年度	平成29年度
認知症サポーター養成講座	489人 (累計2,507人)	448人 (累計2,955人)
認知症サポーター ステップアップ養成講座	16人 (累計16人)	13人 (累計29人)

○ 介護予防ケアマネジメント

事業名	平成28年度	平成29年度
介護予防支援事業 (要支援者の介護予防プラン報酬請求件数)	3,688 人	2,859 人
介護予防ケアマネジメント (要支援者及び事業対象者の介護予防プラン報酬請求件数)	—	873 人

③ 障害者福祉の推進

〈117 ページ〉

○ 障害者自立支援給付等事業

区分		延べ利用者数	備考
介護給付費	在宅訪問系	402 人	障害福祉サービス受給者証交付 366 人(年度末) 〔 障害支援区分調査 117 人 〕 〔 介護給付等支給審査 118 人 〕 児童通所サービス受給者証交付 77 人(年度末)
	在宅通所系	2,260 人	
	施設入所・入居	1,031 人	
	計画相談	395 人	
訓練等給付費	自立・就労支援	1,871 人	
	共同生活援助	1,072 人	
自立支援医療費	更生医療	(18 歳以上)	2,327 人
	育成医療	(18 歳未満)	41 人
補装具給付費		93 人	

○ 地域生活支援事業

区分(主なもの)	延べ利用者数	備考
日常生活用具	322 人	ストマ、紙おむつ 912 月給付
コミュニケーション支援	95 人	奉仕員(手話・要約筆記)派遣
地域活動支援	4,171 人	障害者地域活動支援センター 1 か所
相談支援	1,055 人	障害者相談支援事業所 3 か所
身体障害者福祉タクシー	946 人	

④ 暮らしを支える諸制度の運用 〈115・117・125・127・229・309 ページ〉

○ 国民健康保険事業

- ・ 特定健康診査 1,211 件 (受診率 19.3%) (昨年度 1,348 件 (受診率 19.6%))
- ・ 特定保健指導 61 件 (昨年度 78 件)
- ・ 人間ドック検診助成 133 件 (昨年度 140 件)
- ・ がん検診等助成 4,395 人 (昨年度 4,344 人)
- ・ インフルエンザ予防接種助成 1,188 件 (昨年度 1,264 件)
- ・ 肺炎球菌予防接種助成 224 件 (昨年度 158 件)

○ 後期高齢者医療事業

- ・ 各種申請の受付・相談及び保険料の徴収を行った。

被保険者数 75 歳未満 197 人

75 歳以上 5,094 人

○ 重度心身障害者医療費助成事業

		対象者数	助成件数	
			入院	その他
平成 28 年度	65 歳未満	327 人	230 件	6,977 件
	65 歳以上	517 人	641 件	7,475 件
平成 29 年度	65 歳未満	315 人	252 件	6,726 件
	65 歳以上	497 人	705 件	8,153 件

○ 特別障害者手当等給付事業

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度
特別障害者手当	307 人	304 人
障害児福祉手当	237 人	170 人
福祉手当	12 人	12 人

○ 福祉灯油支給事業

- ・ 低所得の障がい者、ひとり親世帯等に対して灯油の購入費を一部助成 (307 世帯)

○ 臨時福祉給付金支給事業

- ・ 平成 26 年 4 月の消費税率引上げによる影響を緩和するため、所得が低い方に対し、暫定的かつ臨時的な措置として臨時福祉給付金(経済対策分)を支給するもので、今回は、国の経済対策の一環として消費税率の引き上げが 2 年半延長されたことを踏まえ、2 年半分を一括して支給した。

支給人数 5,867 人

○ 生活保護扶助事務

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度
被保護世帯数	625 世帯	628 世帯
被保護人員数	799 人	787 人
保 護 率	22.5%	22.6%
面接相談件数	140 件	145 件

○ 特定疾患患者援護事業

- ・ 特定疾患患者について、稚内市以外の専門医療機関への治療通院に要した費用(交通費及び宿泊費)の一部助成を行った。

実績 75 人(370 件) (昨年度 79 人(410 件))

分野3 環境・生活

「自然と共存し、安全・安心に暮らせるまちを目指して」

(1) 安心して暮らせるまちづくり

① 消費生活の向上

〈99・101 ページ〉

- 消費生活安定事業
 - ・ 消費者被害未然防止のための啓発活動(消費生活展、消費生活セミナー、戸別訪問等)
 - ・ 連絡会ニュースの発行(年4回)

- 消費者センター運営事業
 - ・ 消費生活相談業務の広域対応 管内相談件数 193 件、うち稚内市 143 件
(昨年度 管内相談件数 160 件、うち稚内市 116 件)

- 物価・量目調査事業
 - ・ 物価調査 ～ 調査員:稚内市消費生活モニター 6 人
生活関連物資(47 品目)の価格調査を毎月 1 回実施
 - ・ 量目調査 ～ 調査員:稚内市消費生活モニター6 人
食料品(調査品目:夏 6 品目、冬 7 品目)を購入し、量目調査を年 2 回実施

② 交通安全対策の推進

〈99・153 ページ〉

- 交通安全対策事業
 - ・ 一般交通安全指導員 17 人

事業内容	出動延べ回数	
	平成 28 年度	平成 29 年度
春秋の全国交通安全運動街頭指導	107 回	134 回
その他の運動(街頭啓発、パトライト作戦等)	71 回	73 回
各種行事交通整理	32 回	43 回

- ・ 学校交通安全指導員 11 人
配置校:稚内中央小学校、稚内南小学校、稚内東小学校、稚内港小学校、潮見が丘小学校
(市内 5 小学校)

- 交通安全啓発資材(夜光反射材等)の購入

事業内容	区分	平成 28 年度	平成 29 年度
交通安全教室・講習会 (幼児～高齢者)	開催回数	8 回	12 回
	参加人数	604 人	1,317 人
交通安全大会	開催回数	2 回	2 回
	参加人数	250 人	250 人

○ 道路橋梁維持管理事業(道路交通安全施設の整備)

- 区画線整備 29.1km
- カーブミラー設置 2 基
- 注意発起看板設置 1 箇所
- 砂箱設置 1 箇所
- 転落防止柵設置 1 箇所
- ガードレール設置 1 箇所
- 車止め設置 1 箇所
- ガードパイプ設置 1 箇所

③ 防犯対策の推進

〈99 ページ〉

○ 防犯活動推進事業

- 稚内市暴力追放運動街頭啓発 3 回実施 (北門神社例大祭 ほか)
- 青色防犯パトロール実施回数 延べ 1,377 回 (昨年度 1,050 回)

④ 消防・救急体制の充実

〈163 ページ〉

○ 消防施設等の整備

- 消防用ホース購入 5 本
- 小型動力ポンプ付積載車購入 2 台(第 5 分団 沼川地区、第 10 分団 宗谷地区)

○ 救急救助体制の整備

- 高規格救急自動車購入 1 台

(2) 暮らしを支える生活環境づくり

① 快適な冬の暮らしの創造

〈155 ページ〉

- 除雪対策管理事業
 - ・ 除排雪業務委託
除雪回数 24 回
除雪延長(市内 192.5km、郡部 140.3km)
 - ・ 融雪剤・砂散布業務委託
 - ・ スノーポール設置、撤去業務委託(設置数 1,768 本、防雪柵 1,781m)
 - ・ 歩道柵設置、撤去業務委託(転落防止柵 762m等)
 - ・ ロードヒーティング維持管理業務委託 11 箇所
 - ・ 上猿払清浜線除雪業務委託(北海道受託)
 - ・ 融雪剤散布機設置、撤去業務委託 2 箇所

② 良好な生活環境の確保

〈131・133・135 ページ〉

- 公衆浴場確保対策事業費補助事業
 - ・ 稚内市公衆浴場確保対策事業費補助金
住民の保健衛生上不可欠である公衆浴場の廃業を防止し、利用の機会を確保するため、市内1浴場に対し、事業費の補助を行った。
 - ・ 稚内市公衆浴場設備整備費補助金
公衆衛生上必要な公衆浴場を確保し、かつ公衆浴場の衛生水準の向上と省エネルギーの推進を図るため、必要な設備の整備を行う市内1浴場に対し、整備費の補助を行った。
- 火葬場管理運営事業
 - ・ 火葬場使用実績：675 件（昨年度：783 件）
 - ・ 火葬炉改修工事
- 公害防止対策事業
 - ・ 自動車の道路交通騒音測定を 4 箇所で実施し、公害監視を行った。
地域住民の生活環境を著しく損なう騒音は確認されなかった。

- 不法投棄防止対策事業
 - ・ 不法投棄防止対策として、監視員 2 人を雇用し、稚内市管内一円パトロールを実施
廃バッテリー・廃家電製品等 1.5tを回収（昨年度 1.1t回収）
 - ・ 不法投棄防止啓発看板の設置
 - ・ 清掃活動「クリーンアップわっかない」の推進
町内会クリーン作戦（各町内会一斉）春： 35 町内会 1,959 人 秋：8 町内会 390 人
声問海岸クリーン作戦 61 団体 391 人が参加 約 1.7t のごみを回収
- し尿処理事業、浄化槽汚泥処理事業
 - ・ し尿及び浄化槽汚泥を下水終末処理場で下水汚泥と共同処理を行った。
し尿処理量 1,726 件 806.2kl/年 浄化槽汚泥処理量 1,244 件 3,004.6kl/年

(3) 環境問題への積極的な取組

① 再生可能エネルギーの利活用

〈105 ページ〉

- 太陽光発電施設維持管理事業
 - ・ 次世代エネルギーパーク拠点施設として、稚内メガソーラー発電所で発電した電力を、隣接する大沼球場と道立宗谷ふれあい公園へ供給し、再生可能エネルギーの利活用を図った。
- 新・省エネルギー推進事業
 - ・ 小型風力発電設備等の設置及び運用の基準に関する条例を制定。
目的 小型風力発電の設置及び運用に関し必要な基準を定めることにより、小型風力発電を適切な状況に誘導することで、再生可能エネルギーの導入拡大を図るとともに、市民及び地域の安全の確保並びに生活環境の保全を行う。
- 再生可能エネルギー地産地消モデル構築事業 ※新規
 - 目的 稚内市が所有する風力発電設備で発電した電気を、電力会社の送電網を活用し、遠隔地にある複数の公共施設で最適に利用する仕組みの構築・運用を目指すとともに、発電した電気を水素に変換し、その活用についても検討を行う。
また、産業振興や雇用創出創設を目指すために、地域にあるエネルギーを活用した「地域エネルギー会社」の創設を検討する。
 - 実施期間 平成 29 年度～平成 33 年度
 - H29 年度実績
 - ・ 市内公共施設 17 カ所にエネルギー使用状況を把握・管理するシステム(EMS)を設置し、電力需要の計測・解析を行った。
 - ・ 再生可能エネルギーの地産地消や水素の利活用についての検討委員会を設置し、検討を行った。

② 循環型社会の形成

〈133・135 ページ〉

○ 一般廃棄物収集事業

- 一般廃棄物の収集量 9,532t (昨年度 9,569t)

(家庭系収集ごみ: 5,989t、大型収集ごみ: 22t、資源物収集: 3,521t)

[廃棄物処分場埋立て状況]

	平成 28 年度	平成 29 年度
一般廃棄物	12,406t	12,053t
うち家庭系	5,799t	5,670t
うち事業系	4,981t	5,110t
その他一般廃棄物	1,626t	1,273t
産業廃棄物(合せ処理分)	1,397t	1,307t
埋立て処理合計	13,803t	13,360t

○ 生ごみ中間処理施設管理運営事業

- 稚内市バイオエネルギーセンター(生ごみ中間処理施設)において、生ごみ等の中間処理により、ごみの減容化を図り、さらに処理過程で発生するバイオガス(メタンガス)のエネルギーとしての活用や、最終残渣を肥料とするなど、有効活用を図った。

[稚内市バイオエネルギーセンター処理状況]

	平成 28 年度	平成 29 年度
投入量	4,061t	4,394t
生ごみ	1,685t	1,647t
下水道汚泥	2,204t	2,362t
その他(水産残渣、紙、廃食用油)	172t	385t
処理不適物	416t	431t
実質処理量	3,645t	3,963t
残渣排出量(減容率)	706t (80.6%)	742t (81.3%)
発生ガス量(※)	527,890N m ³	556,562N m ³
ガス回収率(※)	145N m ³ /t	140N m ³ /t

※ ガス量 50%換算値

○ 廃棄物処理施設建設事業

現在の一般廃棄物最終処分場が平成32年11月頃に埋め立てが満了となる見込みであることから、新たな一般廃棄物最終処分場の整備が必要となり、その設計、建設、維持管理及び運営についてPFI事業として実施することを決定し、実施事業者の選定を行い事業契約を締結した。

設計・建設期間：平成30年1月～平成32年11月

埋立期間：平成32年12月～平成42年11月

- ・ 一般廃棄物最終処分場 PFI 事業者選定アドバイザー業務委託
- ・ 一般廃棄物最終処分場施設整備計画書等作成業務委託料
- ・ 一般廃棄物最終処分場整備・運営事業建設モニタリング業務委託

○ ごみ減量化対策事業

- ・ ごみ総排出量 16,587t (昨年度 16,947t)
- ・ 一人一日当たりごみ排出量 1,299g/人・日 (昨年度 1,301g/人・日)
- ・ 小中学校、町内会等の資源物の集団回収の促進を目的として資源物集団回収奨励金制度を実施した。
実施団体数 15 団体(昨年度 16 団体)
回収量 317.3t(昨年度 314.5t)

○ 分別収集事業

- ・ 資源化量 3,781t (昨年度 3,727t)
資源物処理量：3,521t(古紙類:2,350t、ビン類:330t、缶類:193t、ペットボトル 162t、古衣類:38t、
容器包装プラ 316t、その他 132t)
生ごみメタン資源化量：260t(メタン化量: 187t、堆肥化量: 73t)
- ・ リサイクル率 22.8% (昨年度 22.0%)

③ 自然環境の保全と共存

〈143 ページ〉

○ 鳥獣被害防止対策事業

- ・ エゾシカ捕獲・管理(被害防止及び数の調整) 852 頭 (昨年度 778 頭)
- ・ 市に対し捕獲の許可申請があった件数 65 件(道許可及び市許可) (昨年度 69 件)
- ・ カラスの巣撤去出動回数 97 回(市職員及び委託業者) (昨年度 93 回)

分野4 都市基盤

「次世代に向けた住みよいまちを目指して」

(1) 公共交通を充実させたまちづくり

① 総合的な交通体系の構築

〈95・97 ページ〉

○ 政策調整一般事務費(JR利用促進事業) ※新規

- ・「最北端・食マルシェ 2017」と連携した事業

稚内駅又は南稚内駅着の「特急宗谷」「特急サロベツ1号・3号」を利用し、「最北端・食マルシェ 2017」に
来場された方へ「稚内うまいもん焼きセット」をプレゼントした。

実施日:平成29年8月27日(日)

対象者数:18人

- ・「ローカル線で行く歩こう会」と連携した事業

稚内駅から兜沼駅までをJRを利用して移動後、兜沼駅から上勇知までウォーキングの実施や
宗谷本線の歴史についての学ぶ機会を設けた。

開催日:平成29年10月15日(日)

参加者数:46人

○ 稚内市地域公共交通活性化協議会補助事業

- ・天北地区、恵北・増幌地区乗合タクシーの運行 利用者数5,037人(昨年度5,480人)

- ・宗谷岬空港線バスの運行

平成29年度

期 間 平成29年6月16日から9月15日(92日間)

利用者数 873人

平成28年度

期 間 平成28年6月1日から8月31日(92日間)

利用者数 859人

- ・稚内市地域公共交通活性化協議会の開催 3回

○ 生活交通路線維持事業

- ・市内生活交通路線維持費補助事業(宗谷バス株)
- ・天北線生活交通路線維持費補助事業(宗谷バス株)

② 都市間交通の基盤整備

〈159・161 ページ〉

○ 稚内港ふ頭保安管理事業

- ・ 中央ふ頭、末広ふ頭、天北1号ふ頭、天北2号ふ頭の SOLAS 条約による制限区域内の 24 時間体制警備

○ 稚内港改修国直轄事業

〔総事業費 505,100 千円 (うち、市負担金 162,867 千円)〕

事業箇所	事業概要
北ふ頭	護岸(防波)(北)(改良) 一式
末広ふ頭	岸壁(-12.0m)改良 付帯施設一式

○ 宗谷港改修国直轄事業〔総事業費 60,000 千円 (うち、市負担金 11,617 千円)〕

事業箇所	事業概要
本港地区	防波堤(北外) L=11m 物揚場(-2.5m)(東船溜) L=15m

○ 稚内港改修国庫補助事業

事業箇所	事業概要
北・港地区	道路改良 L=795m
港地区	物揚場L=36m

○ 稚内港改修単独事業

事業箇所	事業概要
第一副港地区	船揚場基線補修 一式

○ 稚内空港整備国直轄事業〔総事業費 896,466 千円 (うち、市負担金 67,223 千円)〕

事業箇所	事業概要
稚内空港	用地造成、滑走路改良、照明施設

○ 海岸保全国庫補助事業

事業箇所	事業概要
潮見地区	消波ブロック製作一式

(2) 災害に強いまちづくり

〈105・107 ページ〉

① 防災対策の強化

○ 災害対策事業

〔主な備蓄品の平成 30 年 3 月 31 日現在の備蓄数合計〕

備蓄品	備蓄数	うち平成 29 年度購入
毛布	3,957 枚	900 枚
コンパクトブランケット	4,440 枚	
敷マット	200 枚	
防災マット	1,550 枚	1,000 枚
アルファ米(備蓄食糧)	1,650 食	
カセットガスストーブ	300 台	200 台
カセットガスコンロ	50 台	
カセットガスボンベ	1,583 本	
照明器具(投光器)	9 台	9 台
発電機 1.6kva	7 台	7 台
発電機 2.5kva	1 台	1 台
コードリール	8 台	8 台
ジェットヒーター	1 台	1 台
ペットケージ	8 個	8 個
ガソリン携行缶	8 個	8 個
フラットコード	8 本	8 本

・ 稚内市津波ハザードマップの作成および配布 ※新規

平成 29 年 2 月に北海道が公表した新たな津波浸水想定を網羅した津波ハザードマップを作成し、町内会を通じて市民へ配布を行った。

〔印刷部数 25,000 部(内訳:世帯分 18,000 部、転入者分 4,500 部、研修会時等配布分 2,500 部)〕

・ 土のうステーション等の設置 ※新規

平成 28 年 9 月に発生した大雨災害をきっかけに設置された、稚内市公共土木施設に係る大雨対策検討会議の中で提言された土のうステーション等を市内 27 か所に設置した。

〔土のうステーション 5 か所〕

〔災害時土のう提供所 20 か所〕

〔災害時特設土のう提供所 2 か所〕

・ 防災啓発

防災講演等を開催 15 件(うち、防災講演 11 件、防災訓練 2 件、防災講演+防災訓練 2 件)

・福祉避難所の指定

新たに、社会福祉法人緑ヶ丘学園と協定を締結し、同園を福祉避難所に指定した。

	福祉避難所指定施設名	締結年度
1	稚内市特別養護老人ホーム富士見園(従来型)	平成 27 年度
2	稚内市特別養護老人ホーム富士見園(ユニット型)	平成 27 年度
3	稚内市デイサービスセンター潮見園	平成 27 年度
4	北海道稚内養護学校	平成 28 年度
5	社会福祉法人緑ヶ丘学園	平成 29 年度

○ 自主防災組織育成事業

[平成 30 年 3 月 31 日現在の自主防災組織]

大黒 2、大黒 3、白樺、潮見第二、ひばり、声問、こまどり 合計 7 団体

[自主防災組織が実施した防災訓練]

平成 29 年 7 月 29 日 ひばり防災会(内容:防災講話、防災グッズ作成)【参加者:40 名】

平成 29 年 9 月 2 日 こまどり町内会自主防災組織(内容:避難訓練、避難所運営ゲーム)【参加者:105 名】

平成 29 年 10 月 29 日 ひばり防災会(内容:資機材点検、防災グッズ作成、防災講話)【参加者:70 名】

○ 防災情報収集・伝達事務

・ 防災情報メール配信サービス

登録者に対して災害等に関する情報をメールで配信するもの。

[配信情報]

地震・津波・土砂災害等に関する気象情報、避難に関する情報、災害等に関連して発生した道路通行止め情報、小中学校休校情報、バス・タクシー・JR 運休情報等

[登録件数] 2,888 件、

[配信件数] 228 件

内訳 : 警報 43 件、道路通行止め 116 件、公共交通機関 47 件、臨時休校 3 件、避難勧告等及び災害警戒情報等 0 件、その他(ミサイル情報、防災訓練等、公共施設関連情報) 19 件

○ 緊急告知ラジオ等整備事業

・ 難聴地域解消に向けたラジオ中継局整備

[難聴解消手法の確定]

平成 28 年度実施の電波調査結果を踏まえ、宗谷岬地区および東浦地区それぞれにおける難聴解消手法および事業費を確定し、「無線システム普及支援事業費等補助金」の交付決定を受けた。(補助率 2/3)

【事業費】 宗谷岬中継局 29,792 千円 (国庫補助 19,861 千円)

東浦中継局 19,958 千円 (国庫補助 13,305 千円)

合計 49,750 千円 (国庫補助 33,166 千円)

※ 整備工事は平成 30 年度に実施(予算を繰越)

○ 総合防災訓練実施事業

隔年で開催している総合防災訓練を実施。午前(一部)は大雨・土砂災害を想定した各種応急対策訓練を行い、午後(二部)から地震・津波を想定したシェイクアウト訓練※および高台までの避難訓練を行った。

【日時】 一部 平成29年9月3日 午前9時00分～午後1時00分

二部 平成29年9月3日 午後2時00分～午後2時35分

【場所】 一部 稚内市保健福祉センター

二部 航空自衛隊稚内分屯基地高台

【参加人数】 一部 256名

二部 194名

※シェイクアウト訓練とは、地震の揺れに備えて身を守る行動(1.姿勢を低くし、2.頭を守り、3.動かない)をとる訓練

(3) 調和のとれた持続可能なまちづくり

① 中心市街地の再生

〈147 ページ〉

○ 地域交流センター管理運営事業

- ・ 利用状況 全体利用者数 892,766人 (昨年度 855,574人)

アトリウム・市民活動室利用団体数 229団体 (昨年度 197団体)

中心市街地活性化事業(自主事業) 24回実施 (昨年度 23回実施)

○ まちなか居住等推進事業

- ・ 稚内市まちなか居住ポータルサイトの運営

② 計画的な土地利用の推進

〈93・155・157 ページ〉

○ 公有財産購入事業 ※新規

- ・ メグマ沼自然公園に隣接する土地、及び当該土地に所在し、本市が区分所有している建物等を購入した。

土地 23筆 684,886.85㎡ 建物 4棟 1,825.70㎡

○ 恵比須地区住環境整備事業 ※新規

- ・ 恵比須地区における行き止まり道路を解消し、緊急車両や除雪車両の通行可能な道路の整備を行うため、土地を購入した。

宅地 2筆 956.35㎡

○ 空き家対策事業

- ・ 老朽危険空き家除却費補助金実績 1件 500,000円 (昨年度 3件 1,500,000円)

③ 生活を支える社会基盤整備の推進 <103・153・155・157・161 ページ>

○ 地域情報通信基盤維持管理事業

- ・ 通信事業者によるブロードバンド未整備地区での高速インターネット利用環境実現のために整備した光ケーブル等設備の維持管理を行った。

【整備対象地区】

声問地区、西浜地区、恵北地区、樺岡地区、沼川地区、曲渕地区、川西地区、川南地区、開進地区、豊別地区、上声問地区、更喜苦内地区、天興地区、曙地区、抜海地区、クトネベツ地区、勇知地区、オネトマナイ地区、富士見地区、宗谷地区、増幌地区、清浜地区、富磯地区、宗谷岬地区、東浦地区、市街地一部

整備地域世帯数	加入数(H29)	総延長距離数
3,423 件	1,348 件(加入率:39.3%)	234 km

○ 街路灯管理事業

- ・ 公共灯 LED 化整備工事【土木課管理分】 129 基
栄街路 15 基、中央 3 条通 14 基、その他路線 100 基
整備数(累計) 525/596 灯
LED 化率(累計) 88.10%
- ・ 街路灯設置助成金【防犯灯】 503 基
各町内会に設置費の 2/3 以内を助成
申請町内会件数 43 町内会
- ・ 街路灯電気料助成金【防犯灯】 3,569 灯
各町内会に電気料の 8/10 以内を助成
申請町内会件数 65 町内会

○ 道路ストック整備事業(社会資本整備総合交付金事業)

- ・ 市内幹線道路路面調査設計業務委託
- ・ 市内幹線道路舗装整備工事
大黒 12 条通(L=175m)、大黒1条通(L=100m)
- ・ 市内幹線道路舗装整備付帯工事

○ 道路・河川大雨対策事業 ※新規

- ・ 市内管路浚渫業務委託
- ・ 道路排水調査業務委託

- 副港通道路整備事業(社会資本整備総合交付金事業) ※新規
 - ・ 副港通道路測量設計委託(実測線測量・実施設計 L=370m)
 - ・ 副港通道路整備工事(L=48m)
 - ・ 副港通道路整備付帯工事

- 単独地方道路整備事業
 - ・ 北浜山手通側溝整備工事(L=46m)
 - ・ 百合ヶ丘4号通側溝整備工事(L=170m)
 - ・ 朝日8条通道路整備工事(L=123m)
 - ・ 中央1条通側溝整備工事(L=48m)
 - ・ 大黒1条通側溝整備工事(L=80m)
 - ・ クサンル川護岸補修工事(L=20m)
 - ・ 市内河川整備工事(土砂止め1箇所)

- 橋梁長寿命化整備事業(社会資本整備総合交付金事業)
 - ・ 橋梁長寿命化補修工事
サラキトマナイ4号橋補修工事(主桁補修一式)
 - ・ 橋梁長寿命化補修付帯工事
 - ・ 橋梁定期点検業務負担金
点検数 44 橋

- 花と緑のまちづくり事業
 - ・ 花のボランティア事業 参加者数 40 人 (昨年度 62 人)

- 都市公園等維持管理運営事業
 - ・ 公園維持補修
ちびっこ広場維持補修、市内各公園施設維持補修
 - ・ 公園維持管理
指定管理者制度等の業務委託を活用した維持管理 (都市公園 19 箇所、その他 2 箇所)

- 街区公園等整備事業
 - ・ 都市公園遊具改築(さくらヶ丘公園・緑どんぐり公園・青葉公園)工事

- 稚内公園整備事業
 - ・ 実施設計業務委託
 - ・ 園路、売店の整備

- みどり公園整備事業
 - ・ 実施設計業務委託
 - ・ 耐震診断業務委託
 - ・ 地質調査業務委託

- 緑・富岡環状通街路整備事業(社会資本整備総合交付金事業)
 - ・ 家屋調査業務委託
 - ・ 補償物件検討資料作成業務委託
 - ・ 計画資料作成業務委託
 - ・ 交差点設計業務委託
 - ・ 事業認可資料作成業務委託
 - ・ 道路拡幅・改良工事(L=188m、W=19m)
 - ・ 栄2号橋上部工事(L=38m、W=19.8m)
 - ・ 街路整備付帯工事
 - ・ 移転補償（下水道施設移転補償一式、電柱等一式、通信ケーブル一式）

- 市営住宅維持管理事業
 - ・ 維持補修工事
 - 【浴室床補修】 恵比須団地(3棟50戸)

- 市営住宅個別改善事業
 - ・ 長寿命化に関する実施設計（配管改修）
 - 末広団地(1棟24戸)
 - ・ 長寿命化に関する工事
 - 【配管改修】 末広団地 外1団地(2棟32戸)
 - 【建具改修】 末広団地 外1団地(2棟32戸)
 - 【屋上防水】 富士見団地 外1団地(2棟30戸)
 - 【屋根・外壁改修】 末広団地(1棟24戸)

- 地籍調査事業
 - ・ ノシャップ1丁目及びノシャップ2丁目の一部(調査3年目／地籍図・地籍簿の作成ほか／面積0.11km²)

- 浄水場等整備事業
 - ・ 水道施設水位計更新工事
 - 北辰ダム浸潤線水位計更新 3台
 - ・ 北辰ダム空気揚水筒改修工事
 - 空気揚水筒改修 4箇所

- 導水・配水施設整備事業
 - ・ 導水管の新設(単独事業) L=871m
 - ・ 配水管の改良(単独事業) L=1,006m
 - ・ 北海道生活基盤施設耐震化等事業(道補助事業)
 - 老朽管更新事業(導水管) L= 1,091m
 - 緊急時給水拠点確保等事業 L=485m

- 下水道施設整備事業
 - ・ 終末処理最終沈殿池設備更新機械設備工事 (汚泥かき寄せ機、返送汚泥ポンプほか)
 - ・ 終末処理最終沈殿池設備更新電気設備工事 (コントローラ盤、補助継電気盤、現場操作盤ほか)
 - ・ 終末処理場用水・消毒設備更新機械設備工事 (高架タンク、塩素混和池流入ゲートほか)
 - ・ 終末処理場用水・消毒設備更新電気設備工事 (コントローラ盤、補助継電気盤、現場操作盤ほか)

- 雨水管渠整備事業
 - ・ 公共下水道雨水管渠布設工事 (雨水管 L= 185m、マンホール 4 箇所ほか)

- 水洗化普及促進事業
 - ・ 水洗便所等改造資金貸付実績 3 件 738,000 円 (昨年度 2 件 780,000 円)
 - ・ 合併処理浄化槽設置助成金実績 5 件 3,950,000 円 (昨年度 10 件 7,650,000 円)
 - ※ 水洗化率 93.3%

分野5 産業振興

「自然と共生した活力ある産業が躍動するまちを目指して」

(1) 自然を活用した産業の体質強化

① 安全で良質な水産物の供給

〈145 ページ〉

○ 漁場整備事業費補助事業

沿岸地域における豊かな水産資源の確保及び漁場環境の維持・向上を目的とした漁場整備事業のうち、藻場再生に対する補助事業

- ・ 魚粕 18t散布

総事業費 3,674,300 円 市補助金額 1,152,766 円

○ 水産加工施設整備事業費補助事業

国外輸出の促進のため、輸出先の HACCP 基準を満たす施設整備や保健所による衛生管理の評価基準を満たし、かつ、水産加工品の品質向上を目指した施設整備に対する補助事業

- 1)空調機器・除菌・防虫対策等に係る設備導入

総事業費 30,093,448 円 市補助金額 10,000,000 円

- 2)ホタテ玉冷クリーンカップスケール一式

総事業費 22,734,000 円 市補助金額 10,000,000 円

○ 船舶上架施設整備事業 ※新規

宗谷港リフト式船舶上架施設を整備し、作業時間の短縮や従事者の安全性および身体的負担の軽減を図る。

実施設計業務委託料 25,272 千円 (うち 道補助金額 7,670 千円)

○ 水産加工業振興助成事業 ※新規

水産加工残滓を産業廃棄物処理事業者が収集し、又は運搬し、稚内市バイオエネルギーセンターで処理する場合に発生する経費に対する助成金

利用者 11 社

数量 131.96t

助成金 2,045 千円(1t当たり 15,500 円の助成)

○ 資源育成強化対策事業費補助事業

漁業資源増大、生産性向上を目指し、漁業者自らが行う資源育成事業及び調査試験事業で漁業振興を図る目的に対する補助事業

- ・ 稚ウニ放流 40 万粒

総事業費 4,380,864 円 市補助金額 2,030,400 円

- ・ 稚ナマコ種苗生産・放流 65 万粒

総事業費 562,356 円 市補助金額 260,636 円

- ・ ナマコ種苗生産 73 万個、放流試験 35 万 7 千個

総事業費 3,538,538 円 市補助金額 1,380,000 円

○ 水産資源増養殖実証試験・研究事業補助事業

民間企業が独自に増養殖事業を行い、本市の水産資源の増大に繋がる増養殖手法を確立する取り組みに対する補助事業

- ・ 稚ナマコ種苗生産、中間育成、放流事業

総事業費 3,633,297 円 市補助金額 800,000 円

○ 沿岸漁業担い手育成事業費補助事業

沿岸漁業の活性化を担う漁業を志す者又は漁業就業者の育成を図る目的に対する補助事業

- ・ 資格取得研修等 1 名

総事業費 40,630 円 市補助金額 20,315 円

○ 稚内市漁業近代化資金利子補給金事業

	利子補給対象件数	資金借入承認額	利子補給金
平成 28 年度	111 件	864,590 千円	19,510 千円
平成 29 年度	106 件	761,720 千円	16,163 千円

○ アザラン被害防止対策事業費補助事業

追い払いや銃器を用いた駆除及び効果的な手法の検証

総事業費 2,027,701 円 市補助金額 795,981 円

○ 稚内市ホタテガイ災害対応資金利子補給事業

	利子補給対象件数	資金借入承認額	利子補給金
平成 28 年度	21 件	256,000 千円	2,856 千円
平成 29 年度	25 件	80,000 千円	2,752 千円

○ 水産加工経営安定化資金利子補給事業

	利子補給対象件数	資金借入承認額	利子補給金
平成 28 年度	11 件	303,000 千円	1,498 千円
平成 29 年度	13 件	115,000 千円	1,880 千円

② 安全・安心な農畜産物の供給

〈139・141 ページ〉

○ 稚内市グリーンパートナー推進協議会運営費補助事業

- ・ 農業後継者と独身女性との出会いの場を設定するなど、パートナーづくりと後継者の育成確保を図った。

① 最北 de 縁結びPARTY(稚内市グリーンパートナー推進協議会 単独事業)

酪農男性 5 名 女性 5 名(札幌在住)

② キタコン 2018winter 男性 22 名(うち酪農男性 11 名) 女性 22 名

キタコン実行委員会、稚内市グリーンパートナー推進協議会との共催事業

③ 異業種交流会として、キタコンイベントへの参加

・市内開催:参加酪農男性 2 名

・市外実施事業への参加

宗谷農村パートナー対策協議会主催事業への参加

(稚内市内酪農男性 1 名:岩見沢市)

北海道農業公社主催事業への参加(結婚相談員 2 名 事務局 1 名)

④ 運営委員・結婚相談員向け研修会

「婚活のヒントはある！ 活路は困難な課題の中にこそ」

運営委員 8 名 結婚相談員 2 名 事務局 2 名 計 12 名

○ 酪農ヘルパー事業費補助事業

	加入戸数	利用延日数	補助額
稚内農業協同組合	63 戸	2,466 日	8,300,000 円
北宗谷農業協同組合沼川支所	61 戸	1,504 日	8,651,000 円
合計	124 戸	3,970 日	16,951,000 円

○ 農業関係利子補給金等事業

- ・ 農業経営基盤強化資金(経営改善措置の実施に必要な長期資金)に対する利子補給金

	件 数	融資残高	利子補給額
稚内農業協同組合	14 件	47,496,843 円	165,725 円
北宗谷農業協同組合沼川支所	19 件	170,939,261 円	685,696 円
その他	1 件	589,410,000 円	1,535,024 円
合 計	34 件	807,846,104 円	2,386,445 円

○ 新規就農者支援事業費補助事業

- ・ 経営自立補助金の支給 6 人 (昨年度 5 人)
(年間賃借料の 1/2 相当額を 5 年間補助)
- ・ 経営安定補助金の支給 3 人 (昨年度 3 人)
(施設等の固定資産税相当額を 3 年間補助)
- ・ 営農実習奨励金の支給 2 人 (昨年度 1 人)
(営農実習開始時から 1 ヶ月 10 万円以内の額を 2 年以内の期間で補助)
- ・ 経営開始奨励金の支給 1 人(昨年度 2 人)
(経営開始時に一時奨励金(100 万円)を支給)

○ 中山間地域等直接支払交付金事業

- ・ 農業の生産性、付加価値向上などによる農業収益の向上、耕作放棄地の防止及び農村の活性化を図ることを目的に、農業者に対して交付金を直接支払う制度

集 落 数	参加農家戸数	対 象 面 積	交 付 金 額
2	154 戸	123,202,806 m ²	184,804,208 円

○ 家畜自衛防疫事業

- ・ 牛の予防注射の費用の一部を助成
稚内農業協同組合 7,206 頭 (うち補助対象 7,042 頭)
北宗谷農業協同組合沼川支所 8,779 頭 (うち補助対象 8,010 頭)

○ 黒毛和牛導入資金利子補給金事業

- ・ 黒毛和牛導入資金を借り入れた農業者に対する利子補給金

	件 数	対象残高	利子補給額
稚内農業協同組合	1 件	1,600,000 円	40,000 円
合 計	1 件	1,600,000 円	40,000 円

○ 農業基盤の整備〔道営事業・公社営事業〕

地区名	事業名（事業年度）	事業概要
稚内第2	道営草地整備事業 (平成26～31年度)	草地整備改良 804.0ha 草地造成改良 12.0ha 用排水施設整備 314.0ha
沼川	道営草地整備事業 (平成27～31年度)	草地整備改良 394.0ha 草地造成改良 7.0ha 用排水施設整備 40.0ha
中増幌	道営農道整備事業 (平成26～31年度)	点検診断一式 農道修繕工(農道工) 2,887m 積雪対策工(防雪柵) 830m 積雪対策工(防雪切土) 180m
増幌	道営営農用水整備事業 (平成25～33年度)	送水ポンプ施設、配水管 L=18,305m 管理計装備一式
沼川第1	道営営農用水整備事業 (平成28～30年度)	機械設備一式 電気計装設備一式 薬品注入設備一式
勇知第2	道営営農用水整備事業 (平成28～30年度)	機械設備一式 電気計装設備一式 薬品注入設備一式

○ 大規模草地管理運営事業

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
育成牛	279,693頭	283,302頭	237,027頭
哺育牛	68,631頭	67,497頭	88,089頭
合計	348,324頭	350,799頭	325,116頭

③ 林業の振興

〈143 ページ〉

○ 未来につなぐ森づくり推進事業

公共造林事業により実施した植林のうち、市が事業費の一部を補助した場合に道が市に補助する。

- ・ 事業期間 平成23年度～平成32年度
- ・ 循環利用タイプ 76.74ha

○ 市有林造林事業

- ・ 造 林：宗谷岬地区 4.50 ha (秋期造林 アカエゾマツ 7,200 本)
- ・ 下 刈：宗谷岬地区 38.50 ha
- ・ 保育間伐：峰岡地区 16.00 ha
- ・ 間 伐：川西地区 27.00 ha

○ 緑化推進事業

- ・ 無料苗木配布 ブルーベリー 450 本

○ 市民植樹祭事業

- ・ チシマザクラ 50 本、カバレンゲツツジ 50 本、アキグミ 100 本、クリーンラーチ 100 本

(2) 誇れる稚内ブランドの確立

① 食のブランド化の推進

〈97・147 ページ〉

○ ふるさと納税推進事業

- ・ ふるさと納税制度による本市への寄附促進と、地元特産品のPRや地元産業の活性化を図るため、平成 27 年 11 月より、ふるさと納税ポータルサイト「さとふる」において、お礼品の贈呈を開始した。
- ・ ふるさと納税に係る寄附者とのコミュニケーションの機会の創出と、稚内市のPRを図るため、ふるさと納税イベントに参加した。

ふるさと納税秋祭 in 二子玉川ライズ (東京都)

〔寄付実績〕

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
寄附件数	16,387 件	60,808 件	90,879 件
寄付額	265,628,699 円	1,075,426,719 円	1,564,916,356 円

〔使途別〕

	項 目	件 数	寄 附 額
①	教育及び少子化対策に関する事業 (乳幼児医療費助成事業)	9,030 件	140,534,021 円
②	国内及び国際の交流に関する事業	561 件	8,020,177 円
③	福祉及び医療に関する事業 (病院事業繰出事業:医師確保対策分)	4,790 件	70,072,199 円
④	環境、新エネルギー及び省エネルギーに関する事業 (街路灯管理事業)	1,989 件	30,066,416 円
⑤	地場産業の振興に関する事業 (観光活性化促進事業)	4,378 件	76,193,720 円
⑥	文化及びスポーツの振興に関する事業 (稚内子ども芸能祭・南中ソーラン祭開催事業)	857 件	13,987,467 円
⑦	その他市長が必要と認める事業 (ふるさと納税推進事業)	72,314 件	1,226,042,356 円
	合 計	93,919 件	1,564,916,356 円

※使途別件数については、複数項目に寄附が可能なため、寄附件数とは異なる。

※各項目内のカッコ書きは、寄附金の主な充当事業

○ 物産振興対策事業

- ・ 稚内産品の知名度向上と販路拡大を図るため、道内外物産展に積極的に参加した。

北海道の物産と観光展（東京都、愛知県）

さっぽろオータムフェスト2017（札幌市）

北海道フェア in 代々木（東京都）

ちちんぷいぷいひやガーデン(大阪府)

㈱ひらまつ合同ディナーイベント(石川県)

○ 稚内ブランド推進事業

- ・ 「稚内ブランド推進協議会」への支援を行った。

稚内ブランド総認定数:原材料 7品、加工品 24品、地域資源 4点

うち H29 認定数:加工品 4品(うち再認定 3品、新規 1品)

(3) 地域経済を支える未来の芽を育成

① 商業の振興

〈95・147 ページ〉

○ 地方創生推進事業(起業機運醸成事業)

起業マインドの醸成を図るとともに、起業だけに限らず、地域の少ない人材を有効かつ総合的に活かした地域づくりに結び付けていくことを目的に女性活躍応援セミナーを開催。

タイトル 「キラキラ輝く自分探し 地域で輝く私を創造する」～好きなこと、得意なことを地域に活かす、仕事にする！～

開催日等 平成 29 年 10 月 27 日(金) 稚内総合文化センター 小ホール

参加者数 55 名

○ 中小企業振興事業

稚内市中小企業振興基本条例で定める基本理念・基本方針に基づき、中小企業振興助成金を交付した。

・販路拡大支援事業助成金 6 社 1,036,857 円

【内訳】 特定展示会等出展事業 3 社 367,832 円

新商品開発等事業 3 社 669,025 円

・新規創業者支援事業助成金 5 人 2,750,000 円

・人材育成事業助成金 3 社(6 人) 142,671 円

・商店街活性化事業助成金 3 商店街 1,500,000 円

② 地域特性を活かした新産業の創出

〈147 ページ〉

○ 「わからない産業クラスター研究会」への支援

・ 会員数 35 人

③ 雇用・労働の安定と中小企業の経営支援

〈137・147 ページ〉

○ 総合勤労者会館管理運営事業

・ 総合勤労者会館、勤労青少年体育センターの利用状況

[利用実績]

区分	平成 28 年度	平成 29 年度
稚内市総合勤労者会館	34,354 人	30,874 人
稚内市勤労青少年体育センター	18,269 人	17,614 人

[サークル活動]

区分	平成 28 年度	平成 29 年度
勤労青少年ホーム	6 サークル	6 サークル
働く婦人の家	76 サークル	78 サークル

○ 高等学校卒業生就職支援事業

- ・ インターンシップ支援事業の実施 参加者数 269 人 (昨年度 288 人)
在学中に望ましい勤労観や職業観を育成するための就業体験の支援を行った。
- ・ 就職意識形成セミナーの実施 参加者数 48 人 (昨年度 98 人)
企業人を講師に就職や働くことの意義などを生徒に理解させ、自ら考えさせるためのセミナーを開催した。
- ・ 合同企業説明会の実施 参加者数 62 人 参加企業数 23 社 (昨年度 83 人)
地元求人企業の情報を提供し、企業に対する理解を深め、地元就職の促進を図った。

○ イノベーション人材育成事業 ※新規

北海道を代表する企業経営者が起業や新たな取組への挑戦など、自らの経験を高校生に伝えることにより、北海道から多くの起業家とイノベーション人材が生まれる文化の醸成を図ることを目的にセミナーを開催。

主催 北海道経済産業局・小樽商科大学(特別協力:稚内市)

講師 クリプトン・フューチャー・メディア株式会社 代表取締役 伊藤博之氏

開催日等 平成 29 年 11 月 20 日 稚内高等学校 体育館

参加者数 約 200 人(稚内高等学校:商業科 1~3 年生 稚内大谷高等学校:総合コース 2 年生)

○ 制度資金支援事業

- ・ 稚内市中小企業特別融資貸付

厳しい経営状況の中、中小企業のニーズに応えるため、低利の融資を斡旋し、保証協会の保証料を助成する中小企業特別融資を実施した。

融資実績 1,567,196,000 円 192 件 (昨年度 1,733,960,000 円 215 件)

保証料補給実績 23,651,797 円 208 件 (昨年度 30,100,841 円 216 件)

- ・ 稚内市住宅リフォーム促進利子補給制度

住宅リフォームの需要を喚起することで、地域経済を活性化することを目的として、住宅リフォーム促進利子補給制度を実施した。

利子補給実績 32 件 (昨年度 72 件)

(4) 地域資源の再発見・世界への発信

① 観光を核とした産業振興

〈147・149・183 ページ〉

○ イベントなどの開催、支援

【夏季】

- ・ 第57回稚内みなと南極まつり 来場者数 延べ45,327人（昨年度 延べ50,924人）
- ・ 最北端・食マルシェ2017 来場者数 約24,800人（昨年度 約29,500人）
- ・ 稚内アートフェスティバル2017 来場者数 約6,000人 ※新規

【冬季】

- ・ 2018 わっかない氷雪の広場 来場者数 約12,800人（昨年度 約13,000人）
- ・ 第35回全国犬ぞり稚内大会 参加チーム 44チーム、来場者数 約2,100人 ※1日中止
（昨年度 85チーム、約7,000人）

○ 共同宣伝事業(印刷物の発行)

共同発行物の名称	発行部数	発行元
広域観光リーフレット(日本語版)	30,000部	宗谷観光連盟
広域観光リーフレット(英語版)	10,000部	宗谷観光連盟
広域観光リーフレット(繁体字版)	10,000部	宗谷観光連盟
外国語リーフレット	153,000部	北海道観光振興機構
リーフレット北海道	350,000部	北海道観光振興機構
観光ポスター	1,700部	北海道観光振興機構
観光ポストカード	20,000部	北海道観光振興機構
情報誌「キュン旅北海道」	240,000部	北海道観光振興機構

○ コンベンション誘致推進事業

- ・ 平成29年度に開催された全道・全国規模の大会、会議の誘致活動を実施。

〔開催実績〕

- ・ 東京稚内会「第4回ふるさと訪問」歓迎レセプション 平成29年10月14日(土)～10月15日(日)

○ 誘致宣伝事業

- ・ 印刷物等の製作、映像・マスコミ等による宣伝

	印刷物等の製作	映像・マスコミ等による宣伝
実施内容	○稚内観光パンフレット(80,000部) ○稚内観光ガイドブック(140,000部)	○道内向け旅行雑誌「北海道じゃらん」、広告掲載 ○全国向け旅行雑誌「北海道生活」、広告掲載 ○WEBによる広告掲載の実施 ○SNS(Facebook)による情報発信

- ・ 外国人観光客誘致受入実行委員会補助金
 - 事業主体 稚内外国人観光客誘致受入実行委員会
 - 事業内容 台湾・香港航空会社及び現地旅行会社へのプロモーション活動の実施
香港FITセミナーの実施
サハリン定期航路を利用したサハリン州からの団体ツアー、個人旅行への支援

○ 既存観光施設などの運営、充実

- ・ 観光案内所(JR 稚内駅内) 利用者数 24,159 人 (昨年度 22,045 人)
- ・ 宗谷丘陵展望休憩施設管理運営事業 利用者数 14,000 人 (昨年度 15,290 人)
- ・ 浜勇知展望休憩施設管理運営事業 利用者数 11,145 人 (昨年度 11,810 人)
- ・ 港ギャラリー管理運営事業 利用者数 34,049 人 (昨年度 32,756 人)
- ・ 大沼野鳥観察館管理運営事業 利用者数 11,960 人 (昨年度 13,650 人)

○ 観光活性化促進事業

- ・ 観光客誘致促進事業補助金
 - 事業主体 わっかない観光活性化促進協議会
 - 事業内容
 - 【夏季対策事業】
 - ・ 定期便対策事業
(既存航空路線とタイアップした旅行会社の商品造成への販促、WEB を活用した広告宣伝など)
 - ・ チャーター便対策事業
(機内での稚内ブランド品提供、遊覧飛行の実施など)
 - ・ 広域周遊対策事業
(二次交通対策として利礼 3 町と連携し、フェリーと路線バスを活用した広域周遊パスの実施)
 - ・ 満足度アップ事業
(朝カフェ事業、観光客まちなか回遊促進事業の実施)
 - 【冬季対策事業】
 - ・ 半日観光アクセス支援 142 台 (昨年度 147 台)
 - ・ わっかない地域商品券 4,637 人分 (昨年度 4,960 人分)
 - ・ 周遊型観光客誘客事業 75 台、2,679 人 (昨年度 124 台、4,464 人)
 - ・ 道央圏お迎えバス 個人 4 台、164 人(昨年度 4 台、155 人)
 - ・ JR 対策事業 22 枚
 - ・ 稚内サハリン館 来場者数 3,509 人 (昨年度 4,306 人)
 - ・ 初日の出 in てっぺん 来場者数 約 2,300 人 (昨年度 1,800 人)
 - ・ 宗谷ふれあい公園スノーランド 来場者数 10,833 人 (昨年度 9,211 人)
 - ・ 旧瀬戸邸 来場者数 4,053 人 (昨年度 4,287 人)

- 稚内空港への夏季チャーター便誘致・受入事業
 - ・ 運航会社 株式会社フジドリームエアラインズ
 - ・ 運航路線 全国 24 空港～稚内空港
 - ・ 期 間 平成 29 年 6 月 1 日(木)～9 月 10 日(月)
日本各地空港→稚内空港 161 便、旅客数 10,228 人
 - ・ そ の 他 初便歓迎セレモニー
来訪者へのノベルティー配布
遊覧飛行の実施

- 広域観光周遊ルート支援事業 ※新規
 - 事業内容 「日本のてっぺん。きた北海道ルート。」形成計画推進に係る支援
 - ・ 広域観光周遊ルート支援業務委託料
 - ・ 広域観光周遊ルート受入基盤整備調査業務委託料

- 稚内観光マイスター推進事業費補助事業
 - ・ 初級 受験者数 98 人 合格者数 92 人 (累計 879 人)
 - ・ 中級 受験者数 10 人 合格者数 4 人 (累計 133 人)
 - ・ 上級 受験者数 4 人 合格者数 0 人 (累計 20 人)

- 北の桜守撮影支援事業 ※新規
 - 事業内容 稚内市各所がロケ地となった吉永小百合さん主演映画「北の桜守」に対する撮影支援
撮影セットを活用した映画資料展示施設の整備
 - ・ 北の桜守資料展示施設整備工事
 - ・ 北の桜守ロケ支援協議会補助金

- 観光入込客数調査

	平成 28 年度	平成 29 年度
観光入込客	507,600 人	520,800 人
宿泊客	299,900 人	303,200 人
宿泊客延べ数	369,500 人泊	377,100 人泊
訪日外国人宿泊客延べ数	14,257 人泊	19,729 人泊

- 観光客動態調査
 - ・ 調査箇所 ノシヤップ岬・宗谷岬・稚内公園 サンプル数 3,371 件

- 宗谷丘陵フットパス整備工事 ※新規
 - ・ 工事内容 宗谷丘陵フットパスコース(白い道)へのホタテ貝殻敷均し

○ 合宿誘致推進事業費補助事業

- ・ 実績:10 種目 41 団体 延べ人数 5,306 人(昨年度 7 種目 42 団体 延べ人数 5,001 人)
- ・ 種目内訳:バスケットボール、バレーボール、硬式野球、剣道、卓球、バドミントン、アルペンスキー、スノーボード、クロスカントリー、サッカー

② 企業立地の促進

〈147 ページ〉

○ 企業立地促進助成事業 ※新規

市内に工場等の立地を促進することにより、産業構造の多角化及び高度化の推進並びに雇用機会の拡大を図り、もって本市経済の発展に寄与することを目的に助成金を交付した。

助成件数 1 件(業種:製造業 操業開始:平成 28 年 10 月)

助成金額 16,200,000 円

【内訳】用地取得費助成金 15,000,000 円

雇用奨励助成金 1,200,000 円(新規雇用者:6 人)

③ サハリンとの経済交流の促進

〈149・151 ページ〉

○ 外国人研修生受入事業費補助事業

- ・ 受入人数 3 人 (水産加工業 1 人・建設業 2 人)
- ・ 事業主体 稚内商工会議所

○ 日ロ友好会館運営事業

[利用状況]

	平成 28 年度	平成 29 年度
日本人利用者数	1,182 人	773 人
ロシア人利用者数	186 人	168 人
合 計	1,368 人	941 人
会議室有料使用	51 件	58 件

○ 日ロ定期フェリー関係事業

- ・ インバウンド促進事業負担金 《地方創生推進交付金事業対象》

定期航路を利用して稚内を訪れるロシア人観光客の誘客促進、稚内滞留、リピーター増加を目指して、以下の取組を実施した。

〔取組内容〕

① オプションツアー提供

(サハリンの旅行社が企画した稚内ツアー参加者に対し、自由行動日のオプションとして日本食づくり等、体験メニューを提供)

② 地域商品券の提供

(市内ホテルに宿泊するロシア人観光客に対し、地域商品券を提供)

③ スタンプラリー

(ロシア人観光客が市内観光施設等の指定スポットを巡回するスタンプラリーを実施)

④ フォトコンテスト

(ロシア人観光客が「稚内の魅力」を撮影したフォトコンテストを実施)

⑤ おもてなしセミナー

(サハリンの旅行業関係者を招聘し、ロシア人観光客を受け入れる際の「おもてなし」について学ぶ講演会と、市内関係者との意見交換会を実施)

⑥ サハリンでの周知・啓発

(ユジノサハリンスク市において街頭宣伝を実施)

- ・ 日ロフェリー定期航路利用促進協議会負担金

- ・ 稚内・コルサコフ定期航路利用促進協議会負担金 《地方創生推進交付金事業対象》

- ・ 定期航路利用促進合同会議・友好都市経済交流促進会議の開催

稚内・コルサコフ定期航路利用促進合同会議

開催日 : 平成 29 年 7 月 12 日 (水)

開催地 : コルサコフ市

友好都市経済交流促進会議

開催日 : 平成 29 年 7 月 13 日 (木)

開催地 : ネベリンスク市

○ 稚内日ロ経済交流協会事業費補助事業

- ・ 会員企業への同行通訳、サハリン情報紙の発行等を行う稚内日ロ経済交流協会への補助金

○ サハリン貿易振興事業

- ・ サハリン貿易振興調査事業委託料

- ・ サハリン貿易振興事業負担金 《地方創生推進交付金事業対象》

貨物船チャーター支援 5 回 (貨物量: 合計約 42 トン)

輸出経費支援 6 件

新規商品輸出手続支援 6 件

○ サハリン経済交流等推進事業 《地方創生推進交付金事業対象》

・ ユジノサハリンスク道北物産展

道北地域の 9 市(旭川、名寄、士別、留萌、紋別、深川、芦別、富良野、稚内)が連携し、サハリン州住民に道産品の紹介・販売を行った。

開催日 平成 29 年 10 月 13 日(金)～10 月 15 日(日)

開催地 ユジノサハリンスク市(シティーモール)

来場者数 約 16,500 人 (昨年度 4 日間で約 18,000 人)

○ サハリン定期航路運航支援事業

・ サハリン定期航路運航負担補助金

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
運航期間	6 月 9 日～9 月 18 日	8 月 1 日～9 月 16 日	6 月 5 日～9 月 21 日
運航便数	56 便 (28 往復)	24 便 (12 往復)	68 便 (34 往復)
利用状況	4,401 人	511 人	1,374 人
貨物取扱	192.14t	-	-

※平成 27 年度はアインズ宗谷、平成 28 年度～平成 29 年度は PENGUIN33 による実績

○ 稚内国際文化交流協議会事業費補助事業

・ 青少年派遣事業(高校生ホームステイ)

友好都市コルサコフ市を稚内市内の高校生が訪問し、市内視察・交流プログラムの体験、ホームステイによる交流。

派遣人数 5 人(生徒 4 人、通訳 1 人)

派遣期間 平成 29 年 7 月 29 日(土)～8 月 2 日(水)

・ 青少年受入事業(生徒ホームステイ)

友好都市コルサコフ市から生徒を受け入れ、先に同市を訪問した稚内市内の高校生とともに市内視察・交流プログラムの体験、ホームステイによる交流。

受入人数 4 人(生徒 3 人、引率 1 人)

受入期間 平成 29 年 9 月 15 日(金)～9 月 21 日(木)

・ 稚内・ネベリスク友好都市 45 周年記念事業(アンサンブル等文化団体招聘)

ネベリスク市児童生徒芸術センター・アンサンブル「カニークリ」(14 歳から 17 歳までの生徒 9 人と指導者 3 人)を受け入れ、市内施設にて公演を行うとともに、市内中学校を訪問し交流。

平成 29 年 8 月 19 日(土) 公演 1 (稚内市立図書館多目的ホール 来場者約 80 人)

8 月 20 日(日) 公演 2 (稚内副港市場ギャラリー広場 来場者約 80 人)

○ サハリン事務所管理運営事業

派遣職員数(市職員) 1人

- ・ サハリンプロジェクト関連情報の収集
- ・ 地元企業に対する経済交流の支援
- ・ 各関係団体に対する交流の支援
- ・ 各種情報の収集・発信